

- 熊本機能病院
- 介護老人保健施設 清雅苑
- 指定運動療法施設
熊本健康・体力づくりセンター
- ホームケアサポートセンター
『訪問看護・訪問リハ・居宅介護事業所』
- 有明海リハビリテーションクリニック
- 暖(介護レンタル)
- なないろ森の保育園



ANNUAL REPORT

2024年度(令和6年度)

社会医療法人 **寿量会**

— 寿量グループ事業理念

寿量グループは「Social inclusion(社会的包摂)」の構築に貢献します

— 社会医療法人寿量会憲章

私たちはQOLの向上とノーマライゼーションの確立への道を歩みます

— 熊本機能病院の理念

私たちは人間の尊厳を守り健康生活への奉仕をいたします

社会医療法人 寿量会 2024年度(令和6年度)年報

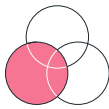
発行:社会医療法人 寿量会 〒860-8518 熊本県熊本市北区山室6丁目8番1号 TEL.096-345-8111

編集・制作:事務部 総務課 経営企画室



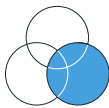
沿革・概要
HISTORY&OVERVIEW

目次	01	標榜科目 / 外来表 / 各センター等について	06
熊本機能病院の理念	02	共同利用型検査	07
ごあいさつ	03	外来受診のご案内	08
社会医療法人 寿量会	04	転院について	09
関連法人	05		



医療・介護活動のまとめ
SUMMARY OF MEDICAL CARE

令和6年度の主な活動	10	院内研修	18
令和6年度表彰 / 月間MVT受賞チーム	12	診療科別患者数・紹介率	19
熊本県SDGs登録更新 / ブライト企業	13	病棟種別 入院・退院経路	20
第56回日本リハビリテーション医学会九州地方会 「感謝のタベ」開催	14	平均在院日数 / クリニカルパス運用率	21
こども食堂『ナナイロカフェ』	15	入院病名統計	22
救急の日	16	入院時紹介元施設 / 退院時紹介先施設	23
イベント・見学	17	退院患者診療圏 / 退院患者年齢層	24
		インシデント等報告状況 / 患者満足度調査	25



部署別報告
DEPARTMENTAL REPORT

整形外科	26	臨床検査部	46
形成外科・小児形成外科	31	看護部	48
皮膚科	33	栄養部	50
リハビリテーション科・脳神経内科・内科	34	医療安全管理部門	51
内科 / 消化器外科	36	総合リハビリテーション部	54
耳鼻咽喉科	37	医療連携部	57
血管外科	38	ささえりあ	58
循環器内科	39	清雅苑 / ホームケアサポートセンター	59
リウマチ科 / 脳神経外科	41	熊本健康・体力づくりセンター	63
救急科・外科	42	通所介護 機能デイトレ	
放射線科・画像診断センター	43	有明海リハビリテーションクリニック	64
麻酔科	44	暖	65
薬剤部	45	なないろ森の保育園	66

熊本機能病院の理念

私たちは人間の尊厳を守り健康生活への奉仕をいたします



患者さんのために
FOR PATIENTS

一貫した医療・生活自立支援

24時間体制、救急医療から疾病治療とリハビリテーション医療を通して生活自立支援までの一貫した医療を実践します

パートナーシップ

私たちは患者さんとのパートナーシップを重視します

高度治療

疾病の高度治療の充実を図ります

医療安全

安全はすべてに優先すると考えて医療を行います

個人情報の保護

職員は職務上知り得た個人情報を守ります

エビデンス

エビデンス(科学的根拠)に基づいた医療を実践します

チーム医療の実践

高い専門性を持った多職種のスタッフが目的と情報を共有し、連携・補完し合い的確な医療を提供します

地域のために
FOR COMMUNITY

地域包括ケア

保健・医療・介護・福祉・地域生活の連携を図ります

社会還元・SDGsの実践

健全経営を維持し、その成果を社会に還元してSDGsを推進します

「医療の谷間」解消

地域における「医療の谷間」の解消への努力をします

職員さんのために
FOR STAFF

教育・福利厚生

教育・研修機会を充実し、福利厚生を積極的に行います

働きがいのある職場

一人ひとりの自己実現・自己成長を支援し、働きがいのある職場風土を育みます

健康維持活動

職員さんの健康を守るために活動します

院長挨拶

平素より当院の運営・診療活動に格別のご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。
本年も、患者さん中心の安全で質の高い医療の提供と当院の使命である「地域に根ざした信頼される医療」の実現に向けて職員一同着実な歩みを進めております。
ただこのところ全国的に医療や介護が、病院経営を含めて逼迫している状況で、医療従事者の確保も困難であり、患者さんに適切な最善の医療を提供する体制の維持が大きな課題です。医療のニーズも多様化し、医療者側もそのニーズに答えながら常にバージョンアップを求められていると思います。
そういった状況の中でも、「人に優しく、科学的で安全な医療」という基本理念を大切に、地域医療機関との益々の連携強化しながら今後もより良い医療サービスを提供できるよう、組織全体で努力を重ねてまいります。

熊本機能病院
院長
寺本 憲市郎
KENICHIRO TERAMOTO



社会医療法人 寿量会

理事長:米満 弘一郎
会 長:米満 弘之



熊本機能病院

院 長:寺本 憲市郎
病床数:395床
一般病棟:86床
地域包括医療病棟:52床
地域包括ケア病棟:55床
回復期リハビリテーション病棟:131床
障害者施設等一般病棟:38床



介護老人保健施設 清雅苑

施設長:野尻 晋一
入所:定員80床
○通所リハビリテーションセンター:定員140名



指定運動療法施設
熊本健康・体力づくりセンター

所長:原田 栄作
○デイサービス機能デイトレ
:定員20名



暖

- 在宅サービス事業
- 医療・福祉施設販売事業
- 熊本機能病院内販売事業



ホームケアサポートセンター

- 訪問リハビリテーションセンター清雅苑
- 熊本機能病院在宅サービスセンター
- 訪問看護ステーション清雅苑



なないろ森の保育園
(熊本市保育所型事業所内保育事業)

園長:小池 亜津子
定員:25名(0歳～2歳)



有明海リハビリテーションクリニック

院長:梶原 瑞恵
○有明海通所リハビリテーション
センター:定員20名

関連法人

社会福祉法人 寿量会

設立年月日 平成2年4月19日

管理者 理事長:梶原 瑞恵
会 長:米満 弘之



特別養護老人ホーム天寿園
特別養護老人ホーム天寿園青葉(地域密着型特養)
特別養護老人ホーム天寿園NeO(地域密着型特養)
指定居宅サービス事業所
・天寿園ショートステイふれんど
・天寿園デイサービスセンター
・認知症対応型デイサービス今町ホーム
・ホームヘルパーステーション天寿園
・グループホーム虹の家
・小規模多機能型居宅介護事業所 銀座通りハウス
天寿園在宅サービスセンター(居宅介護支援)
ケアハウス宝光庵
ASUKAウエルネス
受託事業:熊本市南5地域包括支援センターささえりあ天明

特定非営利活動法人 熊本県骨バンク協会

設立年月日 平成17年7月7日

管理者 理事長:宮本 健史

基本理念 熊本県骨バンク協会は、同種骨移植術を要する人々に対し、安心・安全な同種骨を安定的に供給し、人々の健康及び移植医療の発展に寄与します

NPO法人 健康と幸せの会

設立年月日 平成21年10月22日

管理者 理事長:永沼 三枝子

基本理念 熊本市北部地域を中心とした市民全般に対して、健康を幅広く捉え、医療・保健・福祉、文化面に至るまでの各分野の専門家による講演会開催事業を行い、市民のより健康で幸せな生活づくりに寄与することを目的とする

特定非営利活動法人 ソーシャルインクルージョン研究センター

設立年月日 平成25年7月26日

管理者 理事長:米満 弘一郎

基本理念 社会や家族から独立し排除、差別されている人々(障がい者・高齢者・刑余者・貧困層等)に対して健康で文化的な生活の実現につながるよう、社会の構成員として包み支えあうための社会福祉の実現に寄与することを目的とする

標榜科目・外来表・各センター等について

標榜科目	整形外科 / 形成外科 / 小児形成外科 / 脳神経内科
	リハビリテーション科 / 循環器内科 / 救急科
	脳神経外科 / 血管外科 / 麻酔科 / 放射線科 / リウマチ科
	内科 / 外科 / 皮膚科 / 消化器外科 / 耳鼻咽喉科

外来表（2025年8月1日現在）※は予約制です

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
整形外科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
救急総合外来	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
形成外科	●	●	●	●	●	●	●	● ネイルケア (爪疾患)外来 13:30~15:30	●	●
皮膚科	●※ 13:00~15:00	●※ 13:00~15:00	●※	●※ 13:00~15:00	—	●※ 13:00~15:00	●※ 13:00~15:00	●※ 13:00~15:00	—	—
消化器外科	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—
外科	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—
脳神経内科・ リハビリテーション科・ 内科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
脳神経外科	—	—	●※	—	●※	—	●※	—	—	—
循環器内科	●	● 13:00~15:00	●	●※ 禁煙外来 13:00~15:00	●	●	●	● 13:00~15:00	●	●
リウマチ科	●	—	●	—	—	—	●	—	●	—
血管外科	●	—	●	—	—	—	●	—	●	—
耳鼻咽喉科	●	● 13:00~14:00 15:00~16:00	●※	●※	●※	● 13:00~14:00 15:00~16:00	●※	●※	●	●

外来受付時間 / 午前 8:30～11:00 午後 13:00～16:00 休診 土曜・日曜・祝日・年末年始

救急センターは24時間対応

救急・特殊センター	附設・併設施設
・総合救急センター ・神経生理センター ・神経難病センター ・人工関節センター	・熊本加齢医学研究所 ・地域交流館
・切断指肢再接着センター ・国際唇裂口蓋裂センター ・アノマリーセンター ・骨粗しょう症センター	当院の患者さんや家族の方々の会 ・唇裂口蓋裂 親の会「あじさいの会」 ・パーキンソン病 友の会「楽友会」 ・骨粗しょう症 患者の会
受託事業	地域の方々の会
・熊本市北3地域包括支援センター （熊本市高齢者支援センターささえりあ清水・高平） ・熊本地域リハビリテーション広域支援センター	・NPO法人 健康と幸せの会

当院にてご利用いただける共同利用型検査

画像診断センター

共同利用の流れ

①ご予約
外来
予約センター | 096-345-8195
受付時間/8:30～17:00(月～金)

24時間オンライン予約システム ※登録済みの方のみ
C@RNA Connect

②紹介状
当院ホームページtop→医療連携→画像診断
のご依頼に掲載の「画像診断センター共同
利用依頼書兼診療情報提供書」をご活用
ください。
※造影検査をご希望の際は、同ページのCT・MRI
造影検査に関する説明もご参照ください。



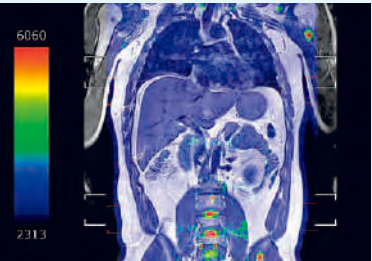
③予約日
患者さんご自身で当院受付にお越しください
(利用依頼書／情報提供書をご持参ください)

④検査施行
+レポート作成
+画像CD-ROM作成
患者さんに当日お渡し
※紹介医へ郵送する場合もあります。

検査項目

●CT、MRI
●頭部MRI VSRAD
頭部MRI画像を使用して脳の萎縮度を見る検査です。
アルツハイマー型認知症診断の早期診断に有用です。
50歳以上の方が対象です。

●体幹部DWI(MRI)
腫瘍マーカーやエコー、CTなどでがんを疑う場合や、
がんの既往がある患者さんのフォローアップなどでほ
ぼ全身を一度でチェックします。PET-CTと類似の画像
を注射なし、絶食なし、待機時間なしで提供できます。

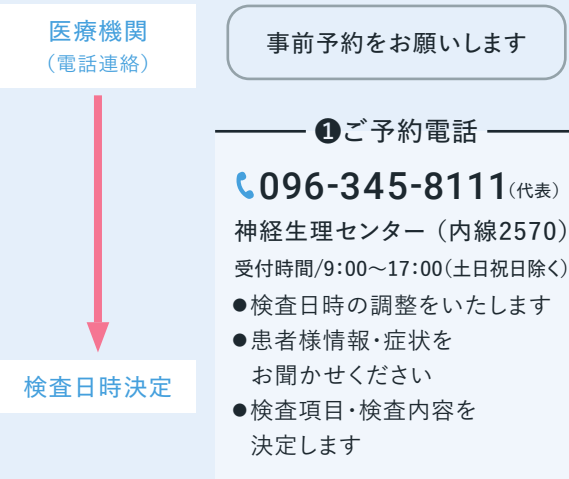


体幹部DWI
(DWIBS法)

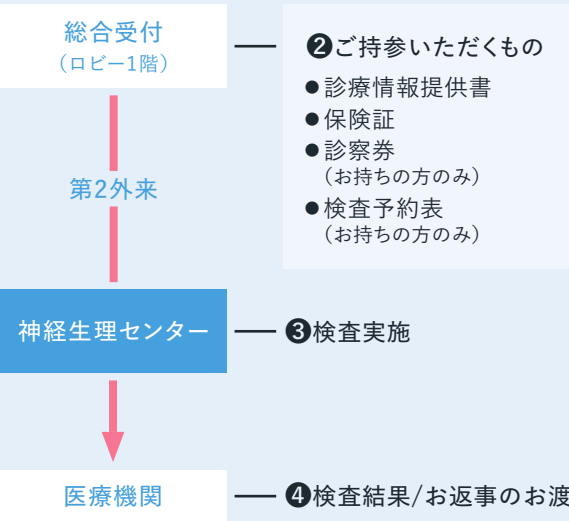
●骨密度検査
腰椎・大腿骨：DXA法

神経生理センター

予約の流れ



予約された検査日



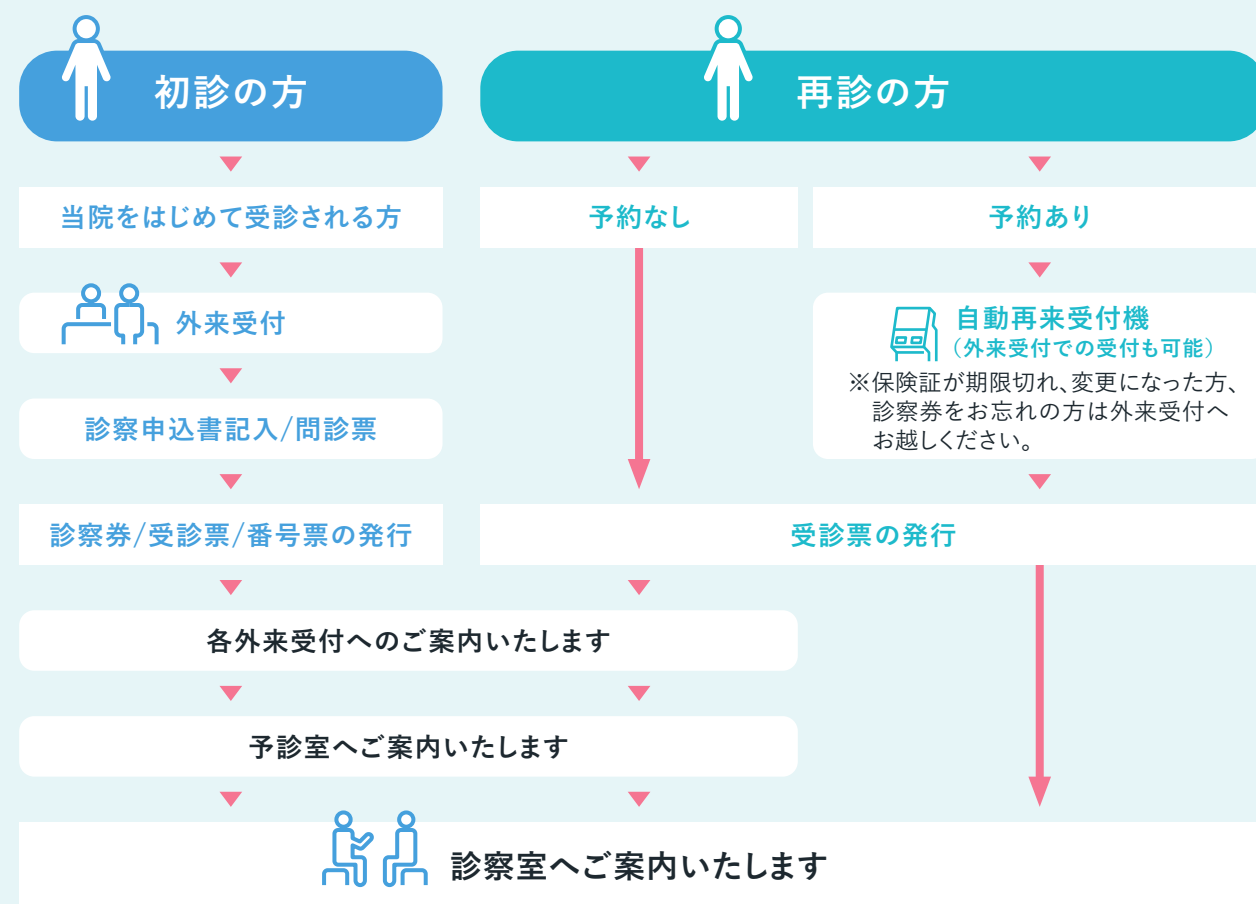
検査の詳細は P46・47へ



OUTPATIENT PROCEDURE

外来受診のご案内

受診申し込みからの流れについてまとめています。
受付は8時30分から開始します。



TRANSFER

転院について

当院では急性期一般病棟、回復期リハビリテーション病棟、
地域包括医療病棟、地域包括ケア病棟等があり、
転院を随時受け付けております。

私たちが担当いたします



前方連携担当看護師

お問い合わせ

熊本機能病院 ☎ 096-345-8111 (代表)

電話交換に繋がりますので、ご用件をお伝えください。
※時間外(平日17時半以降、土曜・日曜・祝日)は、救急受付にお電話が繋がります。

医師からのご紹介

担当医師が直接お伺いします

医師及び医師以外からのご紹介

医療連携部がお受けします

令和6年度主な活動

4月1日	●令和6年度寿量グループ入社式
4月6日	●なないろ森の保育園入園式
4月18日・26日	●BSCスプリングレビュー
5月12日～18日	●医療安全推進強化週間
5月14日	●看護の日イベント
6月28日	●門松教授特別講演会・形成外科40周年記念講演会「昭和大学における口唇口蓋裂治療」
6月29日	●こども食堂「ナナイロカフェ」開催(第1回) 詳細は ➡ P15 へ
8月9日	●令和塾第4期スタート 詳細は ➡ P18 へ
8月22日	●夏のトリオコンサート
9月6日	●2024年度管理職研修スタート 詳細は ➡ P18 へ
9月7日	●救急の日 イベント開催 詳細は ➡ P16 へ
9月15日	●第56回日本リハビリテーション医学会九州地方会開催 詳細は ➡ P14 へ
9月20日	●NST全体研修会 ～これからの低栄養診断「GLIM基準」を理解し栄養サポートに活かそう～
9月21日	●なないろ森の保育園ミニ運動会
10月15日～17日	●グリーンライトアップ(日本臓器移植ネットワーク)
10月17日・25日	●BSCオータムレビュー
11月7日	●連携のつどい(感謝のタベ) 詳細は ➡ P14 へ
11月29日・12月6日	●第77回看護介護福祉研究発表会
12月9日	●第28回TQM発表会
12月24日	●亀山勝子&法男のクリスマスコンサート
12月29日	●大忘年会
1月25日	●九州昭和大学形成外科同門会
3月4日～6日	●病院機能評価受審
3月15日	●おじゃましますコンサート
3月17日	●輝く!総合リハ大賞2024『第4回総合リハビリテーションセンター院内研究発表会』
3月29日	●なないろ森の保育園卒園式

令和6年度寿量グループ入社式

新たに46名のスタッフが仲間入りし、
配属先で日々奮闘しています。日々精進しながら、
これからも頑張ってまいります。



医師	5名
看護師	24名
理学療法士	2名
作業療法士	4名
薬剤師	1名

臨床検査技師	1名
救急救命士	1名
介護福祉士	2名
看護サポートスタッフ	3名
事務職	3名

第77回 看護介護福祉研究発表会

看護介護福祉研究発表会は、1981年の開院当時より「看護ケアの質の向上」「臨床看護師への継続教育」「現場の業務改善」を目的に始まり今回で77回目を迎えました。
『寄り添う看護、繋げようさらなる未来へ』をテーマに11演題の発表があり、患者さんのためにもっとよい看護がしたい、ケアの質を改善したいという思いや熱意を感じました。また優秀賞に選ばれた2演題は全国学会の発表につながりました。
これからも看護研究に取り組むことで疑問や課題を明らかにし、科学的根拠をもった看護実践につながるよう自己研鑽に努め、看護の質向上に励んでまいります。



/ 冊子の表紙 /



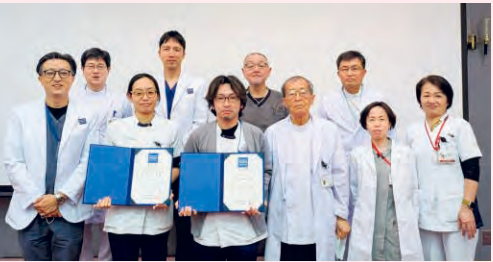
第28回 TQM発表会

令和6年12月9日(月)南館大ホールにおいて「第28回TQM発表会」を開催しました。今回は、看護部、薬剤部、栄養部、総合リハビリテーション部より計5題の発表があり、各部署における業務改善の取り組みが発表されました。各発表は、業務の質向上や効率化を目的とした工夫が随所に見られ、聴講者にとって大変有意義な内容となりました。その中でも特に優れた取り組みとして、「周術期薬剤師業務によるタスクシフト・シェア」(薬剤部 古賀秀美)「リハ機器点検簿のデジタル化の取り組み」(総合リハビリテーション部 理学療法課 主任 杉谷英太郎)の2演題が業務改善委員長賞に選出されました。発表会を通じて、各部門間での情報共有や相互理解が一層深まり、今後の業務改善活動のさらなる推進が期待されます。



輝く!総合リハ大賞2024
『第4回 総合リハビリテーションセンター
院内研究発表会』

総合リハビリテーションセンターでは、年度内の全学会発表の中から投票により選ばれた4演題をコンテスト方式で再発表する「院内研究発表会」を行っています。第4回目となる2024年度は、すべてのポスター発表を掲示する自由討議も含めて非常に活気ある会となりました。学会会場さながらの雰囲気に参加された他部署の方もやや興奮気味でした。今年度は、理学療法課 主任 松永敏江の「回復期脳卒中患者における歩行支援ロボット併用練習の効果-FIM運動項目に着目して-」が総合リハ大賞に選ばれました。2025年度もリハは、積極的な学会発表を行い日々の臨床と研究に勤しんで参ります!





令和6年度表彰



清雅苑リハ部 通所リハ課
副主任 辻本 真也

第48回 全国デイ・ケア研究大会2024 in 札幌・北海道

優秀演題賞 『科学的介護情報システム(LIFE)の活用』

当苑において管理者は、スタッフの作成したリハビリテーション実施計画書を個別に確認することに加え、厚生労働省へ提出した科学的介護情報システム(LIFE)のデータを包括的に確認し、スタッフにフィードバックすることでサービスの質を管理しています。

今回、当苑独自のデータベースを使用し、目標設定の傾向やADL・IADLの推移などの情報を把握しやすくなったことを全国に向けて発信してきました。

今後も日頃の様々な取り組みを地域・全国に向けて発信していけるように励んでいきたいと思っています。

第20回 熊本作業療法学会

最優秀演題賞 『味噌汁作りを機に自信を取り戻し、
退院後のボランティア再開に意欲を示した事例』

このたび、熊本県作業療法学会において最優秀演題賞を頂戴するという大変光栄な機会を得ることができました。

作業療法士として、患者さんの「その人らしい生活」に寄り添う支援を意識しながら、生活行為向上マネジメント(MTDLP)のプロセスを丁寧に積み重ねてきた成果が形となり、活動と参加の拡大に繋がったことを、大変嬉しく思っております。

今回の受賞は、日々の臨床においてご指導・ご助言をいただいた職場の皆様のご支援の賜物であると、深く感謝しております。

この貴重な経験を励みに、今後も専門性をさらに高め、より質の高い支援が提供できるよう、真摯に取り組んでまいります。



熊本機能病院
総合リハビリテーション部
作業療法課 内田 理海

MOST VALUABLE TEAM

令和6年度月間MVT受賞チーム

平成25年より継続して、法人内における様々な活動を取り上げ表彰する「月間MVT表彰」を行っています。各種表彰や資格取得など、対外的に評価されるものに限らず、法人内におけるサービス向上を目的とした取り組み、その他ボランティア活動やサークル活動まで、幅広く対象としています。



/ 記念の盾 /

8月

通所リハビリテーションセンター 清雅苑

6月28日、29日に開催された第48回全国デイ・ケア研究大会2024においてLIFEを活用した取り組みについての発表を行い、約200演題の中から優秀演題賞に選出されました。

2月

在宅当番医外来チーム

1月1日在宅当番医の際に多職種が一丸となり、整形外科90名、内科366名、計456名の患者さんの外来診療を行いました。

3月

薬剤部

医薬品副作用被害救済制度および予防接種健康被害救済制度の窓口として申請支援をし、負担を抱える患者や家族の救済に貢献しています。

SDGs

熊本県SDGs登録更新 (R7年1月26日更新 / R4年1月26日初回登録)

R4年1月26日に登録事業者となった熊本県SDGsも、更新時期を迎えました。無事に登録更新が決定し、これからも今まで以上にSDGsを意識した取り組みを行ってまいりたいと思います。



SDGsに関する重点的な取り組み及び指標

- ペーパーレス化の拡大
- 外国人労働者の雇用の拡大、定年年齢の引き上げ、多様な働き方の導入
- 病院食における残菜の減少

その他、患者さんのご意見・アンケートによりご指摘いただいた物事を軸として改善し、安心して来院・入院していただける環境づくりを目指すとともに、職員への研修・講義など積極的に開催し、スキルアップできるように又、法整備等、随時最新にして働きやすい職場づくりに努めてまいりたいと思います。

BRIGHT COMPANY

まさやん来訪! ブライト企業YouTube動画出演

(ブライト企業:H29年10月登録)

平成29年10月の認定以降、定期的にブライト企業の更新をしています。今回は、タレントのまさやんさんがブライト企業を来訪される企画に応募し、動画出演が決定いたしました。



清雅苑通所、総合リハビリテーション部、看護部を中心に撮影を行いました。ユニークな動画を制作していただきました。ぜひ一度ご覧ください。



第56回日本リハビリテーション 医学会九州地方会

令和6年9月15日(日)

大会長 徳永誠(熊本機能病院副院長)

名誉大会長 米満弘一郎(熊本機能病院理事長)

会場 熊本市国際交流会館 6階ホール

参加者数 約100名

教育講演

①「骨粗鬆症および脆弱性骨折とリハビリテーション医療」

熊本大学 整形外科科学講座 教授 宮本健史先生

②「知っておきたい臨床研究のマネジメント」

熊本リハビリテーション病院
サルコペニア・低栄養研究センター長 吉村芳弘先生

③「リハビリテーション科の臨床に役立つ神経生理検査の知識」

熊本機能病院 神経生理センター長 宮本詩子

一般演題発表 18題

THANK YOU EVENT

「感謝の夕べ」を開催しました

令和6年11月7日(木)

会場/熊本ホテルキャッスル

日頃からお世話になっている連携医療機関の先生方をお迎えし、9月より院長に就任した寺本憲市郎のご挨拶と各科の取り組みについてご紹介いたしました。多くの先生方にご出席いただき、大変有意義な時間となりました。



演題内容

①「整形外科下肢班の紹介」

- 人工関節手術支援ロボット Mako®システムについて

整形外科部長 高井浩和

②「循環器内科の取り組み」

- コロナ禍を経て地域の先生方との勉強会再開
- 心臓リハビリテーションの推進

循環器内科部長 原田栄作

③「下肢静脈瘤の新しい手術」

- 血管内塞栓術(グルー治療)について

血管外科部長 萩原正一郎

こども食堂『ナナイロカフェ』

子どもたちの孤食防止、地域の子どもたちの居場所を提供するため、2024年度よりこども食堂『ナナイロカフェ』をスタートさせました。

2024年度は7回開催することが出来ました。これからも定期的に開催し、地域の子供たちを見守っていききたいと思います。

MENU

6月29日(土) カレーライス・コンビニスイーツ

8月7日(水) ハヤシライス・ミニサラダ

8月22日(水) からあげ・ごはん・おみそしる

9月7日(土) 防災食

12月7日(土) セルフドッグ・コーンスープ・豆腐のガトーショコラ

12月24日(火) からあげ・ごはん・おみそしる

3月15日(土) カレーライス・アイスクリーム



ナナイロカフェ、オープンです!



ごはんの量を
小・中・大の選択として、
食べ残しのないように工夫



アイスの味は4種類で用意!

栄養部が
頑張っ
ています!



来院者
のお食
事の様
子です

救急の日

地域住民の方向けに毎年開催している救急の日。コロナ禍だったこともありイベントをしばらく開催していませんでしたが、2024年度はひさしぶりに各コーナーを設け、以前同様開催しました。多くの方が参加されました。



ナナイロカフェ

いつもは子ども食堂として大人の方のみでは利用できませんが、今回は大人の方のみでも利用できるようにし、多くの方にお越しいただきました。



メニュー 防災食



お土産 アルファ米
野菜ジュース

〈VR 消化器体験コーナー〉



〈けむり充満体験コーナー〉



〈なりきり消防士・展示車コーナー〉



上記のコーナーの他、熊本北消防署清水出張所の救急隊による実演と講演、当院の米満理事長による講演も開催されました。

イベント・見学

病院見学受け入れ

3

団体

コロナウイルス感染症流行期間中は見学の受け入れを一時中止しておりましたが、令和5年度からは国内外問わず様々な団体の見学、実習の受け入れを行っております。



日時/人数

5月23日(木)/13名

団体名

大腸肛門病センター高野病院
中国医師団



日時/人数

6月4日(火)/8名

団体名

コンケン大学(タイ)



日時/人数

7月10日(水)/12名

団体名

大邱保健大学(韓国)

院内イベント

5

回

地域のみなさまの交流の場として、不定期でイベントを開催しています。今年度もコンサートや日本舞踊など世代を超えて楽しめる内容をお届けしました。



若の会(日本舞踊)

歌謡曲を中心とした親しみやすいプログラムで構成され、肩の力を抜いて楽しむことができました。患者様やご家族、地域の方々など約70名が参加されました。

日時/場所

4月5日(金)13:30～ / 地域交流館市民塾ホール



おじゃましますコンサート

崇城大学吹奏楽団、熊本保健科学大学吹奏楽部、崇城大学OBOG吹奏楽団の皆様によるコンサート。感染症の影響で4年ぶりの開催となりましたが約80名の方々が参加されました。

日時/場所

3月15日(土)10:00～ / 地域交流館市民塾ホール

その他

夏のトリオコンサート

日時/場所

8月22日(木)14:00～
地域交流館市民塾ホール

救急の日

日時/場所

9月7日(土)10:00～
地域交流館

亀山勝子&法男のクリスマスコンサート

日時/場所

12月24日(火)14:00～
地域交流館市民塾ホール



院内研修

01. 管理職研修

R6年9月から、2クール目の管理職研修がスタートしました。新たに管理者になった職員も参加し、活気づいた研修になっています。全6回開催予定です。

令和6年度『管理職研修』講義内容
【講義の目的】組織運営のための管理能力を向上させる

回	日時	テーマ	目的・内容
第1回	2024年9月6日(金) 17時半～19時半 南館 大ホール	はじめに 自分を変える新しいリーダー	講義とグループワーク
第2回	2024年11月8日(金) 17時半～19時半 南館 大ホール	コーチング①	講義とグループワーク
第3回	2025年1月10日(金) 17時半～19時半 南館 大ホール	コーチング②	講義とグループワーク
第4回	2025年3月7日(金) 17時半～19時半 南館 大ホール	機能評価を終えて BSCシートの再考	BSCシートの再考
第5回	2025年5月30日(金) 17時半～19時半 南館 大ホール	人が集まる病院へ	講義とグループワーク
第6回	2025年7月11日(金) 17時45分～19時45分 南館 大ホール	まとめ	まとめ



/ 研修の様子 /

02. 令和塾

令和塾とは、次世代の若手リーダーを育成すべく、令和元年よりスタートした院内研修です。リーダーに必要なヒューマンスキルや、問題解決能力を身につけることを講義内容としております。研修内容は毎期終了後に精査し、次の研修スケジュールを作成します。2024年8月から、第4期がスタートいたしました。

2024年度で
第4期開催となりました。

令和6年度 第4期『令和塾』講義内容
【講義の目的】リーダーを目指す人に必要なものを身につける

回	日時	テーマ	目的・内容
第1回	2024年8月9日(金) 17時半～19時半 南館 中ホール	(はじめに) 仕事を楽しまう	講義とグループワーク
第2回	2024年10月4日(金) 17時半～19時半 南館 中ホール	コーチング①	セルフコーチング 講義とグループワーク
第3回	2024年12月13日(金) 17時半～19時半 南館 中ホール	コーチング②	講義とグループワーク
第4回	2025年2月7日(金) 17時半～19時半 南館 中ホール	考え方と言語化	講義とグループワーク
第5回	2025年4月11日(金) 17時半～19時半 南館 中ホール	自分を変える 新しいリーダー	講義とグループワーク
第6回	2025年6月13日(金) 17時半～19時半 南館 中ホール	まとめ・発表	受講生による5分スピーチ 米満理事長総評 元田先生総評



/ 研修の様子 /

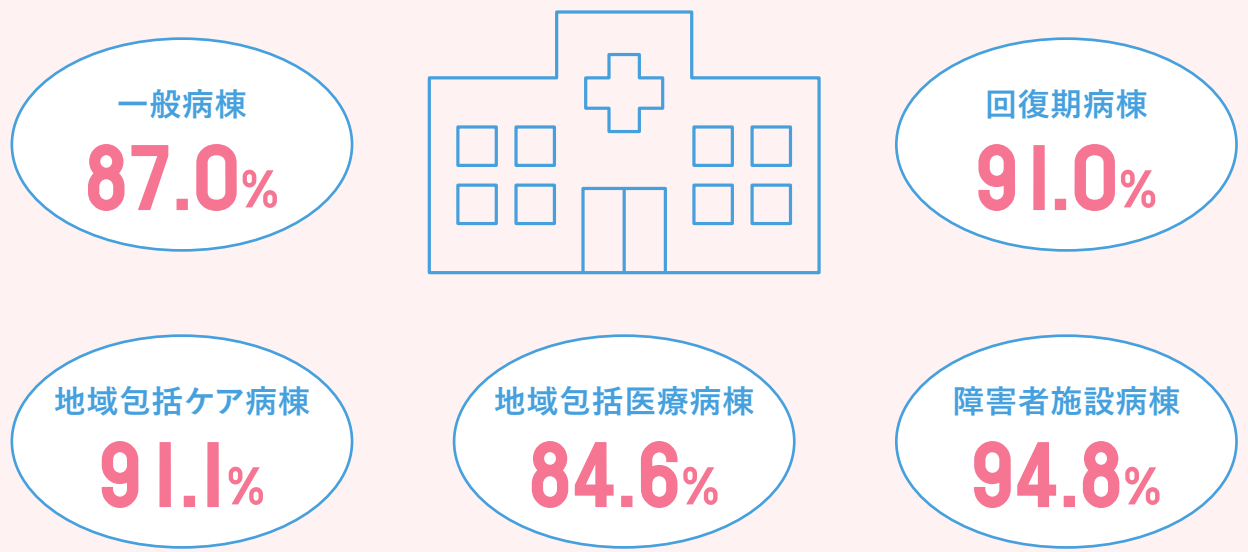
令和6年度医療実績

診療科別患者数・紹介率

	外来(人)		紹介率(%) (救急車含)	入院(人) 年合計
	新患(年合計)	再診(年合計)		
整形外科	8,733	52,024	24.4	2,205
形成外科・小児形成外科	1,204	7,834	57.0	316
脳神経内科・リハビリテーション科・内科	1,556	11,496	55.3	523
循環器内科	446	9,716	82.4	216
血管外科	219	1,356	65.3	74
脳神経外科	86	3,363	19.6	148
リウマチ科	10	1,227	26.4	1
救急科・外科	1,366	4,554	40.4	454
皮膚科	111	972	18.0	-
消化器外科	3,092	302	30.0	17
耳鼻咽喉科	157	3,092	25.8	3
小児科(2024年1月まで)	6	37	66.7	1
合計	16,986	95,973	(平均)33.7	3,958



病床稼働率(年間平均)



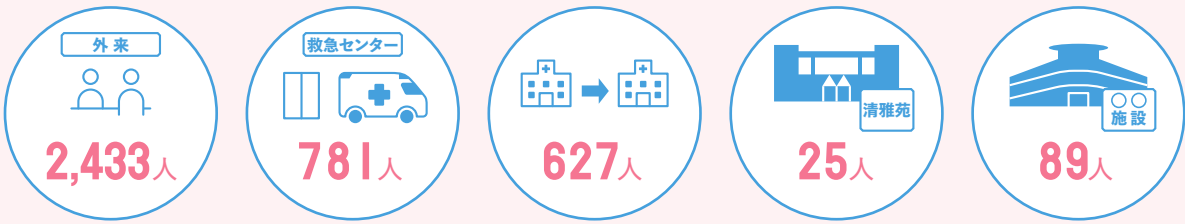
※2024年12月より地域包括医療病棟を新設

令和6年度医療実績

病棟種別 入院・退院経路

入院の経路

	入院病棟					
	一般病棟	地域包括医療病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハビリテーション病棟	障害者施設等一般病棟	全 体
外来より	1,832	177	256	40	128	2,433
救急外来より	563	91	66	12	49	781
転院	154	42	61	340	30	627
清雅苑より	20	1	1	1	2	25
その他の老健や施設より	60	16	2	1	10	89
合計	2,629	327	386	394	219	3,955

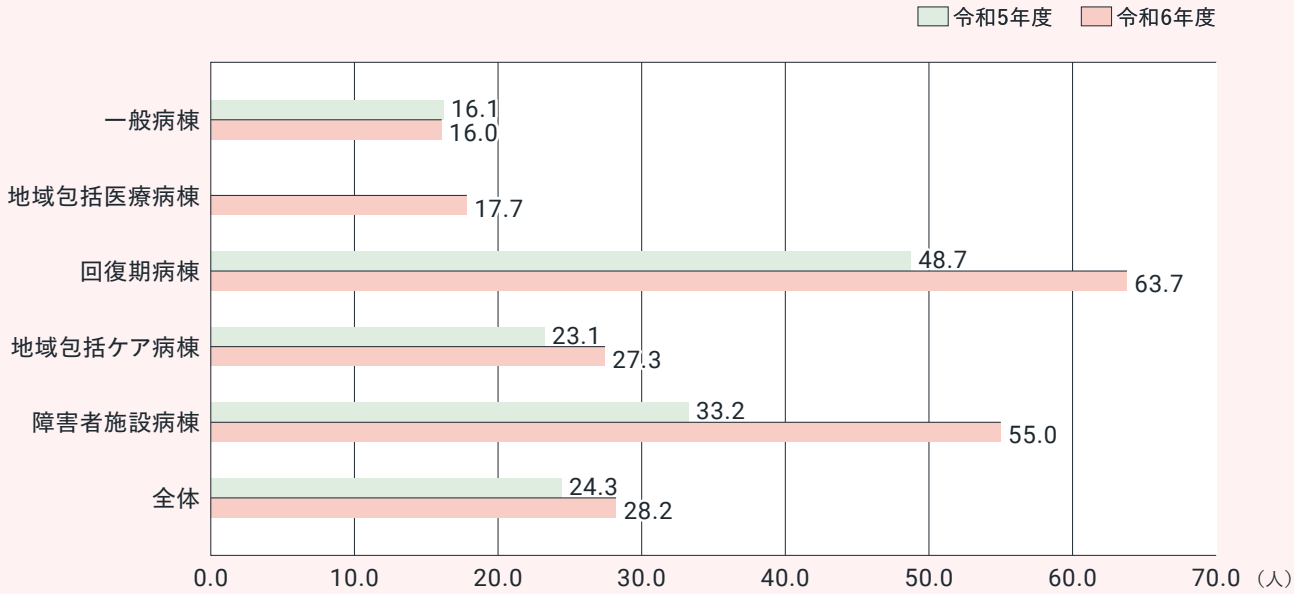


合計 3,955人

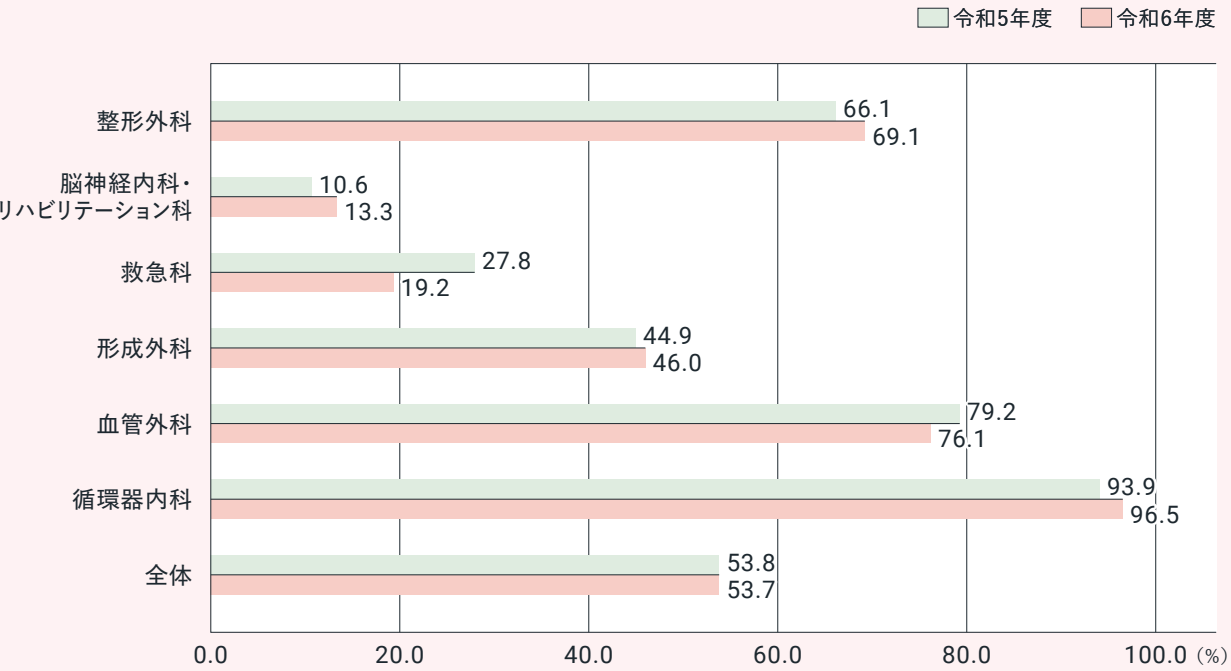
退院の経路

	退院病棟					
	一般病棟	地域包括医療病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハビリテーション病棟	障害者施設等一般病棟	全 体
在宅(外来-当院)	1,524	189	738	553	155	3,159
在宅(外来-他院)	68	24	40	153	7	292
転院	77	12	22	50	29	190
施設入所	44	17	34	142	37	274
死亡	18	4	1	7	10	40
合計	1,731	246	835	905	238	3,955

平均在院日数

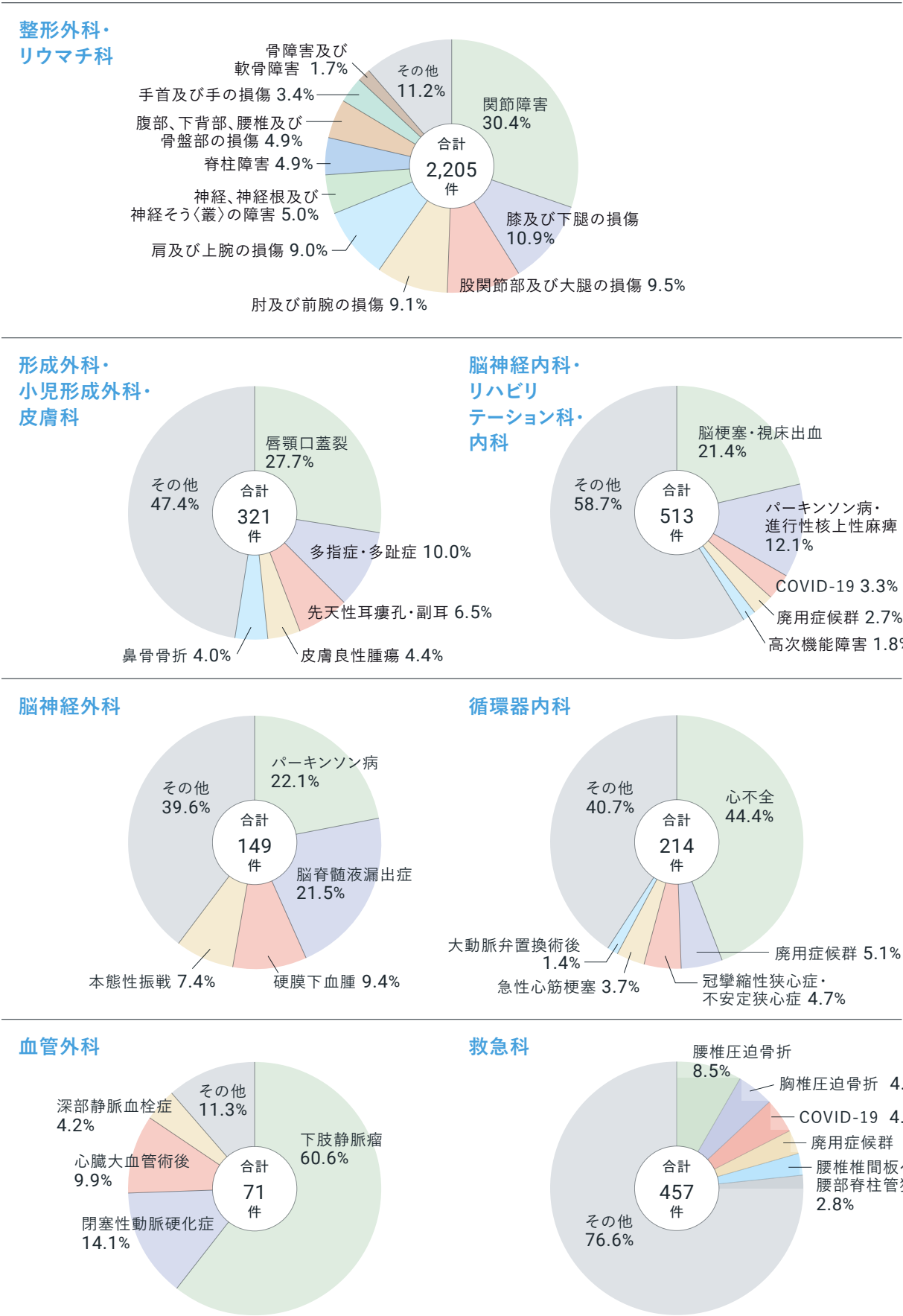


臨床カルパス運用率



令和6年度医療実績

入院病名統計



入院時紹介元施設 患者割合

	医療機関	患者数	R6	R5
1	国立病院機構熊本医療センター	196	11.0%	10.0%
2	熊本赤十字病院	163	9.2%	8.4%
3	熊本大学病院	116	6.5%	7.3%
4	済生会熊本病院	67	3.8%	3.6%
5	たぐち整形外科クリニック	63	3.5%	3.0%
6	森田整形外科医院	46	2.6%	2.3%
7	なかがわ整形	27	1.5%	1.7%
8	清雅苑	25	1.4%	0.9%
9	福田病院(新町)	23	1.3%	0.8%
10	かみくまクリニック(やん胃腸科外科医院)	22	1.2%	1.0%
11	岩本整形外科	18	1.0%	1.4%
11	熊本市民病院	18	1.0%	1.1%
13	熊本中央病院	17	1.0%	1.0%
14	あさはら整形外科	15	0.8%	0.7%
14	武蔵ヶ丘病院	15	0.8%	0.5%
16	松元整形・外科	14	0.8%	0.4%

	医療機関	患者数	R6	R5
17	中村整形外科	13	0.7%	0.2%
17	平山整形外科医院	13	0.7%	0.5%
17	北部病院	13	0.7%	0.4%
20	阿蘇温泉病院	12	0.7%	0.2%
20	寺尾病院	12	0.7%	0.6%
20	城間クリニック	12	0.7%	0.9%
23	みずの内科・血圧心臓クリニック	11	0.6%	0.6%
23	熊本整形外科病院	11	0.6%	0.6%
23	国立病院機構熊本再春医療センター	11	0.6%	0.4%
23	小田整形外科	11	0.6%	0.5%
23	大坂整形外科医院	11	0.6%	0.2%
23	藤原クリニック	11	0.6%	0.6%
29	アラキ整形外科	10	0.6%	0.7%
29	くまもと県北病院	10	0.6%	0.7%
29	下村皮膚科クリニック	10	0.6%	0.5%
29	朝日野総合病院	10	0.6%	0.6%

退院時紹介先施設 患者割合

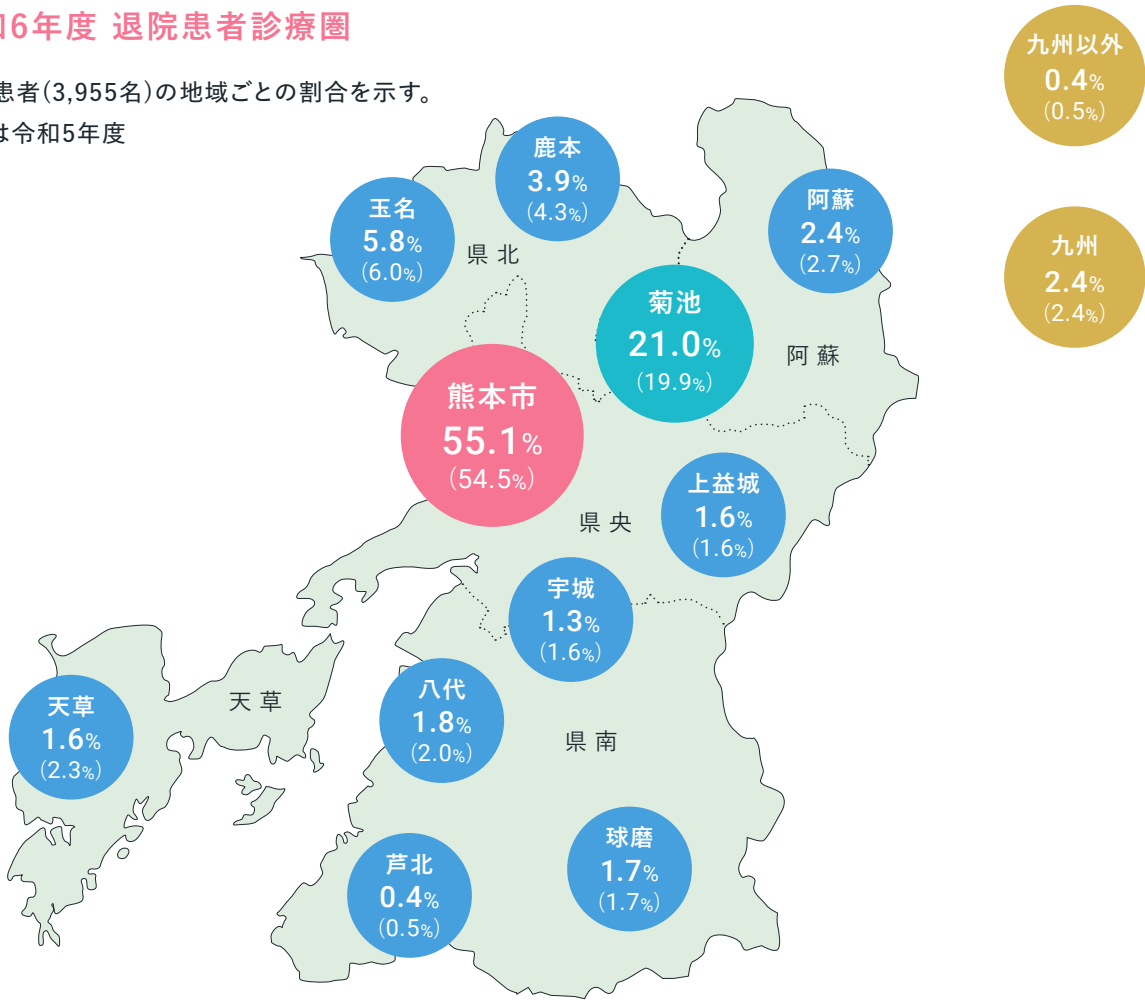
	医療機関	患者数	R6	R5
1	熊本赤十字病院	57	6.5%	4.7%
1	国立病院機構熊本医療センター	57	6.5%	4.4%
3	清雅苑	54	6.2%	9.0%
4	熊本大学病院	38	4.3%	4.3%
5	済生会熊本病院	19	2.2%	1.5%
6	たぐち整形外科クリニック	16	1.8%	1.2%
7	植木病院	10	1.1%	—
7	森田整形外科医院	10	1.1%	0.4%
9	メディケア癒し京町台	9	1.0%	0.7%
9	中山記念病院	9	1.0%	0.6%
11	ココファン麻生田	8	0.9%	0.9%
11	みずの内科・血圧心臓クリニック	8	0.9%	0.7%
11	武蔵ヶ丘病院	8	0.9%	1.0%
11	北部病院	8	0.9%	1.9%

	医療機関	患者数	R6	R5
15	くまもと成城病院	7	0.8%	0.9%
15	合志第一病院	7	0.8%	0.4%
15	国立病院機構熊本再春医療センター	7	0.8%	0.4%
15	朝日野総合病院	7	0.8%	0.6%
19	菊南病院	6	0.7%	1.8%
19	八景水谷クリニック	6	0.7%	0.9%
19	明生病院	6	0.7%	0.1%
22	かじお温泉翔裕園	5	0.6%	0.2%
22	かみくまクリニック(やん胃腸科外科医院)	5	0.6%	0.4%
22	くわのみ荘	5	0.6%	0.7%
22	阿蘇温泉病院	5	0.6%	0.1%
22	寺尾病院	5	0.6%	0.6%
22	平山内科クリニック	5	0.6%	0.1%
22	和水町立病院	5	0.6%	0.2%

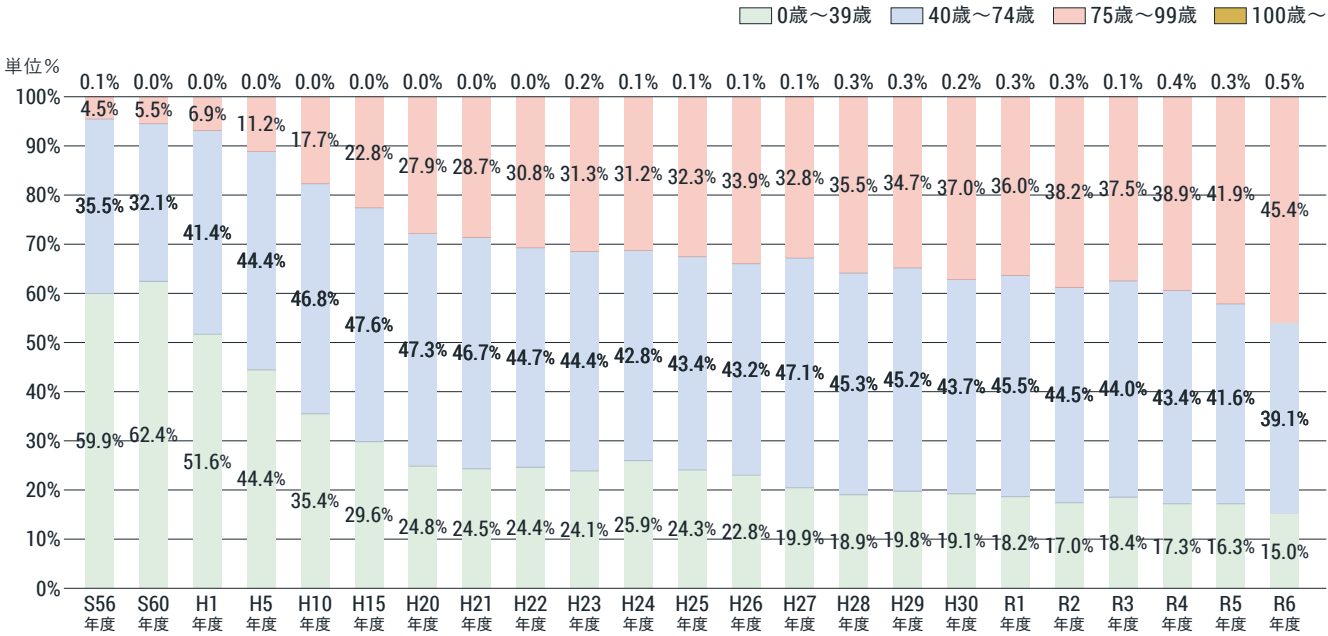
令和6年度医療実績

令和6年度 退院患者診療圏

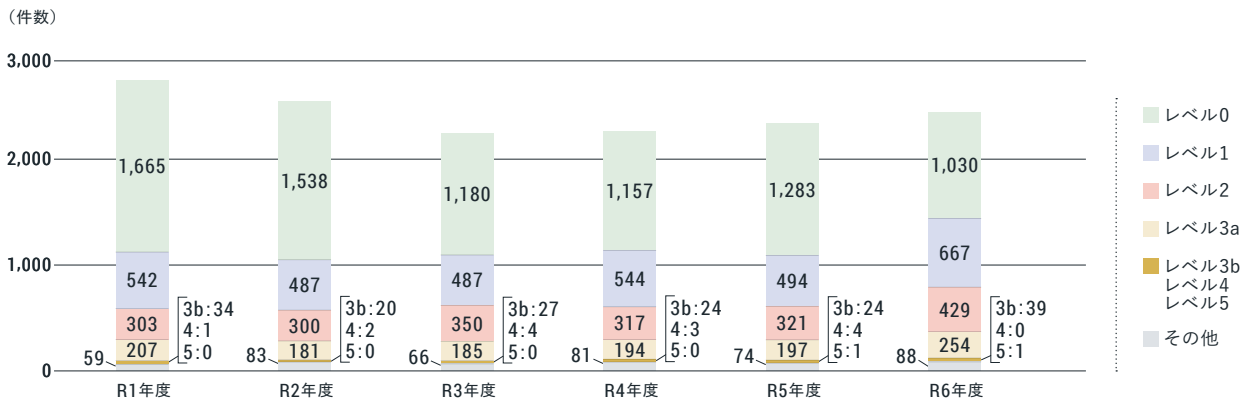
退院患者(3,955名)の地域ごとの割合を示す。
()は令和5年度



年度別 退院患者年齢層



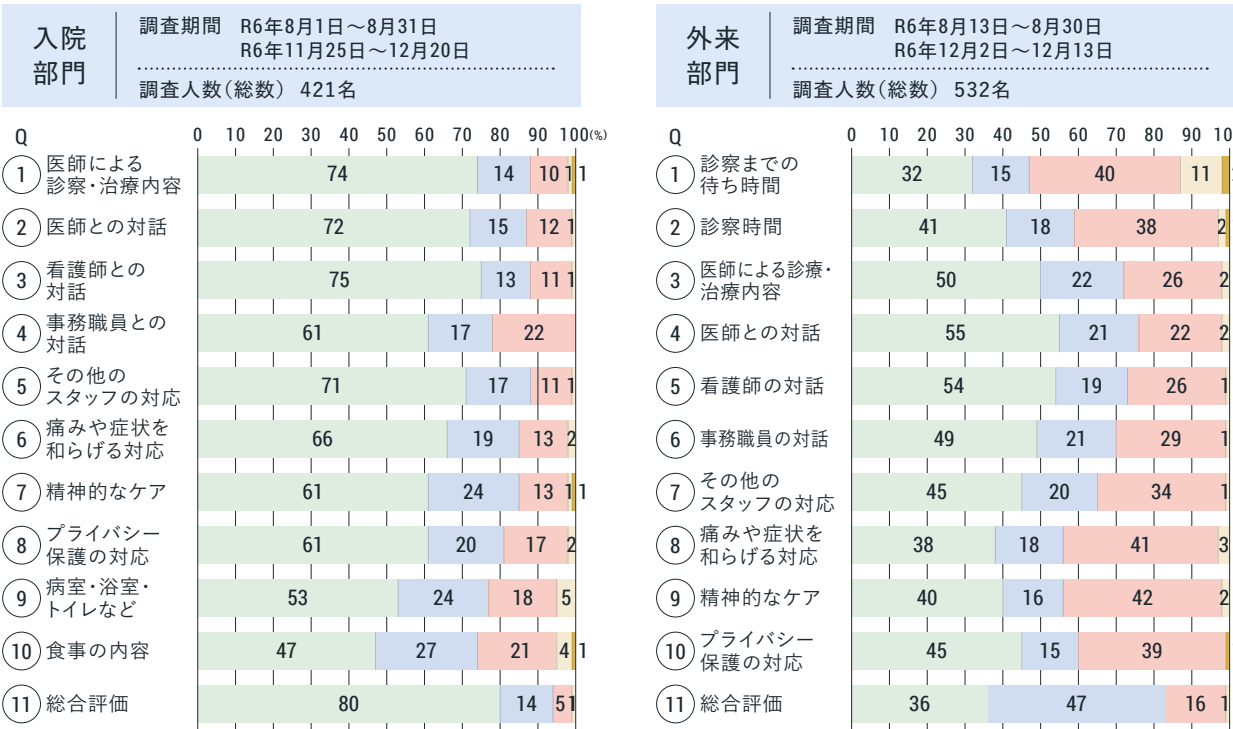
インシデント・アクシデント報告状況



インシデント及びアクシデントの分類

分類	患者への影響度 (事故区分)	内容
インシデント	レベル0 (ヒヤリハット)	仮に実施されていても患者への影響は小さかった(処置不要) 仮に実施されていた場合患者への影響は中等度(処置が必要) 仮に実施されていた場合患者への影響は大きい(生命に影響する)
	レベル1	実施されたが、患者への実害はなかった(何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
	レベル2	処置や治療は行わなかった(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた)
アクシデント	レベル3a	簡単な処置や治療を要した(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
	レベル3b	濃厚な処置や治療を要した(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)
	レベル4	永続的な障害や後遺症が残る、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
	レベル5	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)
	その他	患者が関わらない事例

患者満足度調査



整形外科

専門性を活かして
診療に取り組む

整形外科では、外傷から変性疾患まで、幅広い症例に対応しています。

特に人工股関節・膝関節、関節鏡を用いた手根管開放術、神経縫合を含むマイクロサージャリーなど専門性を生かした手術に取り組んでいます。また、救急外傷（指切断、開放骨折、大腿骨頸部骨折、圧迫骨折、神経損傷）の患者さんへの対応にも力をいれています。

手術後もリハビリテーションを早期から開始し、チーム体制で退院後の患者さんのQOL（生活の質）向上に努めます。

リハビリの詳細は **P54** へ



外来患者数
(1日平均) **249人**
(うち初診36人)

入院患者数
(1日平均) **174人**

手術件数
(年間) **2,093件**

○手術実績（上肢）

手術名	R5	R6
手根管開放術（直視下・鏡視下）	121	143
骨接合術 （橈骨遠位端・上腕骨近位端・ 肘関節周囲骨折）	179	160
腱鞘開放術	153	132
マイクロサージャリー （神経・血管）・再接着	15	15
肩関節鏡視下手術	35	31
肘部管開放術	26	26
肘・手関節鏡視下手術	3	5
その他	455	402
合計	987	914

○手術実績（下肢）

手術名	R5	R6
人工膝関節全置換術	303	333
人工膝関節単顆置換術	12	15
人工股関節置換術	272	287
膝関節鏡視下手術（半月板部分切除 含）	63	43
骨接合術（大腿骨転子部・大腿骨頸部）	78	124
人工骨頭置換術（大腿骨頸部骨折）	70	59
膝前十字靱帯再建術	29	24
人工股関節再置換術	7	4
人工膝関節再置換術	1	3
その他	247	212
合計	1,082	1,104

○手術実績（脊椎）

手術名	R5	R6
脊椎固定術	4	15
椎間板摘出術	6	11
椎弓切除	12	36
椎弓形成	4	2
その他	6	11
合計	32	75

Mako®による手術

膝関節

人工膝関節全置換術
333件の内
294件
人工膝関節単顆置換術
15件の内
15件

股関節

人工股関節置換術
287件の内
247件

当院では人工股関節置換術、
人工膝関節置換術で
手術支援ロボットが使用可能です

ロボティックアームの利点は？

「ぶれることがない」「正確に動く」「止まる」です。人工関節置換術で使用すると、事前に計画した通りに手術器具を移動することができ、人工関節の固定も正確な角度で設置することが可能になります。

ロボティックアームは少しでも計画から外れた動きをすると停止します。身近なものに例えると、車の自動ブレーキのようなもので、治療計画にない動き、つまり、削ったり切除する必要のない部位にさしかかると停止する仕組みになっています。

ナビケーションシステムと合わせて使用することで、治療計画通りの安全かつ正確な手術を可能にします。



R2年1月7日より
ロボティックアーム「Mako®」を導入しています

R5年には「Mako®」による手術が1,700件をこえ、年間で300例以上の手術で使用されています。

R2年1月7日～R7年3月31日までの 「Mako®」使用による手術実績 (件)	
人工股関節置換術 (THA)	1,046
人工膝関節全置換術 (TKA)	1,147
人工膝関節単顆置換術 (UKA)	103
合計	2,296



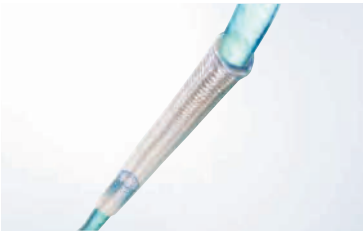
ロボティックアームとは

コンピュータ制御された「機械の腕（アーム）」のことで、自動で動くものや人が操作して動かすものなどがあります。ロボティックアーム「Mako®」は医師が操作して動かすもので、傷んでいる骨を切除したり、人工関節の正確な設置をサポートします。

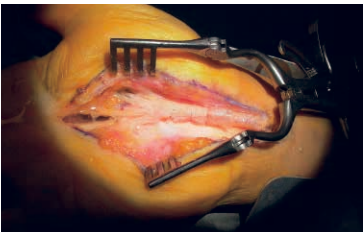


外傷や手術後神経断裂・神経損傷に対し、 神経再生誘導チューブ(人工神経)を用いた 神経再生誘導術を行っています。

開発時より携わっており、今まで多くの症例に用いてきました。
外傷等による末梢神経断裂、欠損部に導入して両断端に連続性を持たせ、
神経再生の誘導と機能再建を目的としており、新鮮・陳旧性は問いません。
知覚検査・エコー検査・神経伝導速度検査等を実施して手術適応を確定します。
神経再生誘導チューブは吸収性縫合糸に使用されているポリグリコール
酸(PGA)製で内面にはコラーゲンが充填されています。再建すべき中
枢側及び末梢側の神経をチューブ内に数ミリ挿入し、数カ所縫合固定して
再生を促します。チューブは約2~4か月後に体内で分解・吸収されます。
また、神経再生誘導チューブを用いることで自家神経移植や神経縫合後
に回復する過程で起こる不快な痛みやしびれが起こりにくいことがあげられ
ます。これにより、リハビリテーションもスムーズに行うことが可能です。



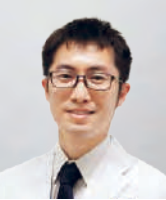
/ 神経再生誘導チューブ /



/ 神経再生誘導術後 /

医師紹介 / 整形外科

	院長 寺本 憲市郎 (平成3年卒) KENICHIRO TERAMOTO 専門分野 手外科 機能再建外科(マイクロサージャリーを含む)	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医] 日本手外科学会[代議員/指導医/専門医] 指定難病医療費助成制度[指定医] 日本マイクロサージャリー学会[会員]
	副院長・人工関節センター長 高橋 知幹 (平成9年卒) TOMOKI TAKAHASHI 専門分野 股関節・膝関節・足関節外科 / 人工関節置換術 骨切り術 / 関節鏡手術(靱帯再建・半月板縫合)	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医] 日本人工関節学会[認定医] 日本組織移植学会[認定医] 指定難病医療費助成制度[指定医] 特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会理事
	関節外科部門長・骨粗しょう症センター長 清田 克彦 (平成7年卒) KATSUHIKO KIYOTA 専門分野 膝関節・股関節外科 骨粗鬆症 / 運動器疼痛	資格・学会等 特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会運営 委員会 個人情報管理責任者 日本整形外科学会[専門医] 日本骨粗鬆症学会[認定医] 日本組織移植学会[認定医] 指定難病医療費助成制度[指定医]
	長井 卓志 (昭和60年卒) TAKUSHI NAGAI 専門分野 整形外科・手外科・スポーツ外傷 マイクロサージャリー分野	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医/認定スポーツ医]

	久保田 晃志 (平成4年卒) KOJI KUBOTA 専門分野 関節外科 膝関節・股関節外科	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医] 指定難病医療費助成制度[指定医]
	高井 聖子 (平成17年卒) SEIKO TAKAI 専門分野 整形外科 リハビリテーション	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医] 日本リハビリテーション医学会[専門医] 日本骨粗鬆症学会[認定医] 指定難病医療費助成制度[指定医]
	高井 浩和 (平成19年卒) HIROKAZU TAKAI 専門分野 人工関節(膝関節・股関節) / 骨粗鬆症 下肢外傷(骨折など)	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医/認定リウマチ医] 日本骨粗鬆症学会[認定医] 日本人工関節学会[認定医] 指定難病医療費助成制度[指定医]
	宮地 有理 (平成11年卒) YURI MIYACHI 専門分野 整形外科	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医] 日本形成外科学会[専門医] 麻酔科標榜医
	杉原 祐介 (平成22年卒) YUSUKE SUGIHARA 専門分野 整形外科	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医]
	中村 良 (平成26年卒) RYO NAKAMURA 専門分野 整形外科	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医]
	工藤 悠貴 (平成26年卒) YUKI KUDO 専門分野 外傷、一般整形	資格・学会等 日本整形外科学会[専門医/認定スポーツ医]



医師紹介 / 整形外科



平田 健悟（平成31年卒）
KENGO HIRATA

資格・学会等
日本整形外科学会[専門医]

専門分野
一般整形、外傷



田原 健太郎（令和2年卒）
KENTARO TAHARA

専門分野
整形外科一般



名誉院長・診療統括顧問

中根 惟武（昭和45年卒）
NOBUTAKE NAKANE

専門分野
股関節・膝関節外科（人工関節・関節鏡視下手術）
老人骨折・骨粗鬆症

資格・学会等
特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会理事
日本整形外科学会[専門医]
日本人工関節学会[認定医]
日本リハビリテーション医学会
指定難病医療費助成制度[指定医]



最高顧問

中島 英親（昭和46年卒）
HIDECHIKA NAKASHIMA

専門分野
整形外科・形成外科・手外科
スポーツ外傷 / マイクロサージャリー分野

資格・学会等
日本マイクロサージャリー学会[名誉会員]
日本整形外科学会[専門医]
日本手外科学会[特別会員/専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



高橋 修一郎（昭和50年卒）
SHUICHIRO TAKAHASHI

専門分野
膝関節外科

資格・学会等
日本整形外科学会専門医/認定スポーツ医



重本 弘文（昭和46年卒）
HIROFUMI SHIGEMOTO

専門分野
リハビリテーション科
整形外科

資格・学会等
日本リハビリテーション医学会[専門医/認定臨床医]
日本整形外科学会[専門医]
臨床義肢装具適合判定講習修了医
回復期専従医講習修了医

整形外科
非常勤医師
(※五十音順)

酒井 和裕
KAZUHIRO SAKAI

所属
健和会大手町病院

宮本 健史
TAKESHI MIYAMOTO

所属
熊本大学病院

楊井 哲
TETSU YANAI

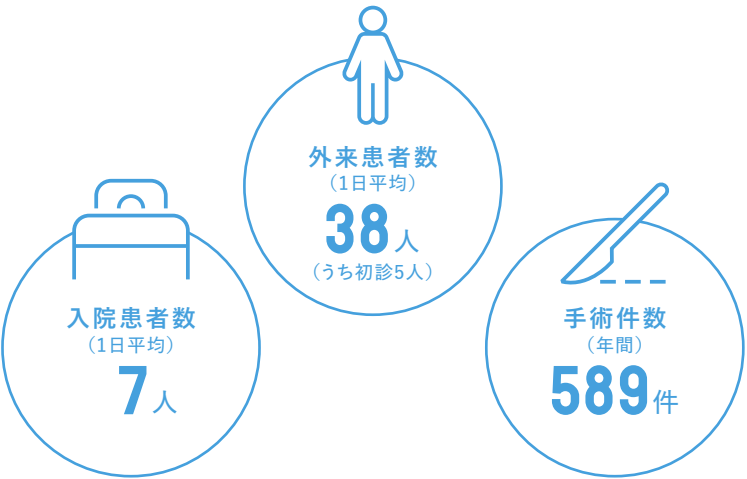
PLASTIC AND RECONSTRUCTIVE SURGERY

形成外科・小児形成外科

機能だけでなく、
見た目もより良い状態に

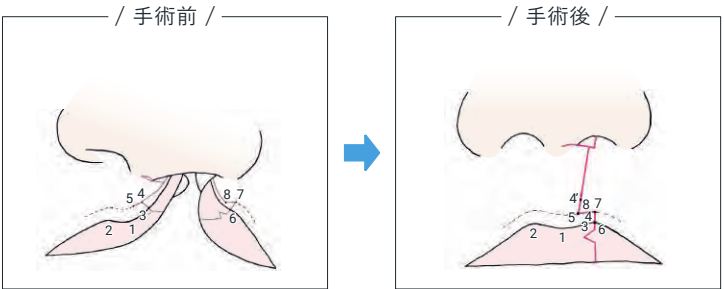
小児形成外科では口唇口蓋裂や多合指症等の先天性疾患に対して、地域の産婦人科、小児科、皮膚科、整形外科等との診療連携を大切にし、早期からの適切な治療を心がけています。

小児領域の治療を行う一方で、加齢に伴う眼瞼下垂症の手術症例は、形成外科での治療によって、外見の改善だけでなく、術後に「視野が広がった」「肩こりが消失した」などの声が聴かれています。



先天性疾患の中でも
症例数の多い
口唇口蓋裂

口唇裂という生まれつき開いている唇を、できるだけ自然な形にすることが、口唇裂の手術では大切なことです。上唇は富士山のように二山になっており、赤い唇に平行に上口唇溝という溝があり、また、人中という、鼻と唇の間に縦の溝があります。それらの特徴をできるだけ明瞭に再建するために、当院では下図のような四角弁法を開発し、より自然な唇を目指して手術に取り組んでいます。



口蓋裂では、手術後の成長過程で発音の誤りが生じることがあります。1歳半頃より言語聴覚士が経過を観察し、必要に応じてリハビリを行います。

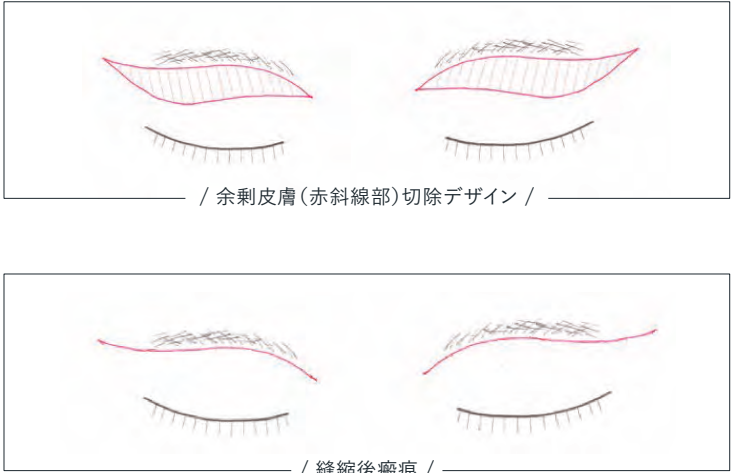


○手術実績 (件)

手術名	R5	R6
皮膚皮下腫瘍摘出術	371	320
口唇口蓋裂形成術	95	96
多指(趾)症、合指(趾)症手術	33	36
眼瞼下垂症手術	10	11
瘢痕(拘縮)形成術	11	11
顔面骨骨折手術	20	18
副耳(介)切除術	21	21
先天性耳瘻管摘出術	11	9
褥瘡、難治性皮膚潰瘍の手術	10	12
耳介形成術	8	7
腋臭症手術(皮弁法)	8	4
その他	42	44
合計	640	589

加齢に伴う 眼瞼下垂症には 2種類あります。

一つは上眼瞼を挙上させる眼瞼挙筋の筋力が年齢とともに弱くなり、上眼瞼を挙げにくくなることによります。もう一つは年齢により全身の皮膚が弛緩してくるに伴い、上眼瞼の皮膚も緩んできて、上眼瞼が庇のように垂れてくることによります。この二つの眼瞼下垂症は手術により治すことができます。筋肉が弱くなったときは眼瞼挙筋短縮術を行います。上眼瞼の皮膚が弛緩してきたときは下の図のように、緩んだ皮膚を切除縫縮します。視野が広がり、顔の印象が若返り、傷跡は目立たなくなります。



医師紹介 / 形成外科・小児形成外科

	副院長・国際唇裂口蓋裂センター長 中国広西医科大学 客員教授 小菌 喜久夫 (昭和51年卒) KIKUO KOZONO 専門分野 形成外科 小児形成外科	資格・学会等 日本形成外科学会[専門医/小児形成外科分野指導医/皮膚腫瘍外科指導医] 指定難病医療費助成制度[指定医] 日本口蓋裂学会[認定師]
	田邊 毅 (平成10年卒) TSUYOSHI TANABE 専門分野 先天異常・マイクロサージャリー 口唇口蓋裂	資格・学会等 日本形成外科[評議員/専門医/小児形成外科分野指導医/皮膚腫瘍外科指導専門医] 指定難病医療費助成制度[指定医]
	中西 いずみ (平成21年卒) IZUMI NAKANISHI 専門分野 形成外科一般 / 手指の先天異常 足潰瘍の治療 / 爪疾患	
	西山 紗貴子 (令和5年卒) SAKIKO NISHIYAMA 専門分野 形成外科一般	

DERMATOLOGY

皮膚科

完全予約制でゆっくりと丁寧な診察

完全予約制でお待たせしないように心がけ、お一人お一人ゆっくりと時間をかけて診察を行います。症状によっては必要に応じて適切な総合病院へご紹介致します。

- 診療時間 / 月曜 9:00~12:00(最終受付11:00)
火曜 9:00~12:00(最終受付11:00)
木曜 9:00~12:00(最終受付11:00)



医師紹介 / 皮膚科

	米満 文 (平成18年卒) AYA YONEMITSU 専門分野 皮膚科一般 美容皮膚科	資格・学会等 日本皮膚科学会[会員] 日本美容皮膚科学会[会員]
---	---	--

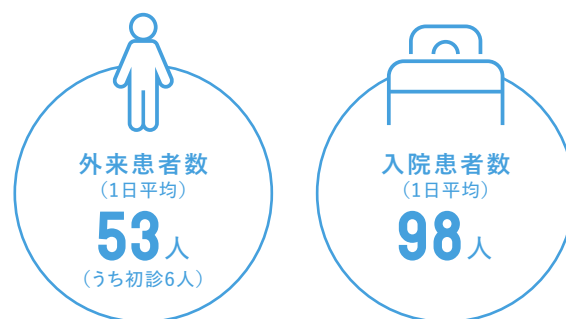
美容部門 (保険外診療)		● 診療時間 / 月・火・水・木曜 13:00~15:00(最終受付14:00) 完全予約制	
			
メディオスター NeXT PRO (ダイオードレーザー脱毛機)	ライムライト (IPL光治療)	ウルトラセルQ+ (HIFU/高密度焦点式超短波)	Picowayピコウェイ (ピコセカンドKTP/Nd:YAGレーザー)
			ケミカルピーリング
スーパービタリオン (イオン導入)	ダーマペン4 (マイクロニードリング)	PRX-T33 (コラーゲンピール)	

リハビリテーション科・ 脳神経内科・内科

急性期から在宅復帰まで 一貫したサポート

脳神経内科では、たとえば、身体にしびれを感じたり、めまいがしたり、うまく力がはまらない、歩きにくいなどの症状に対し、障害が起きている部位や原因を特定し、治療を行います。

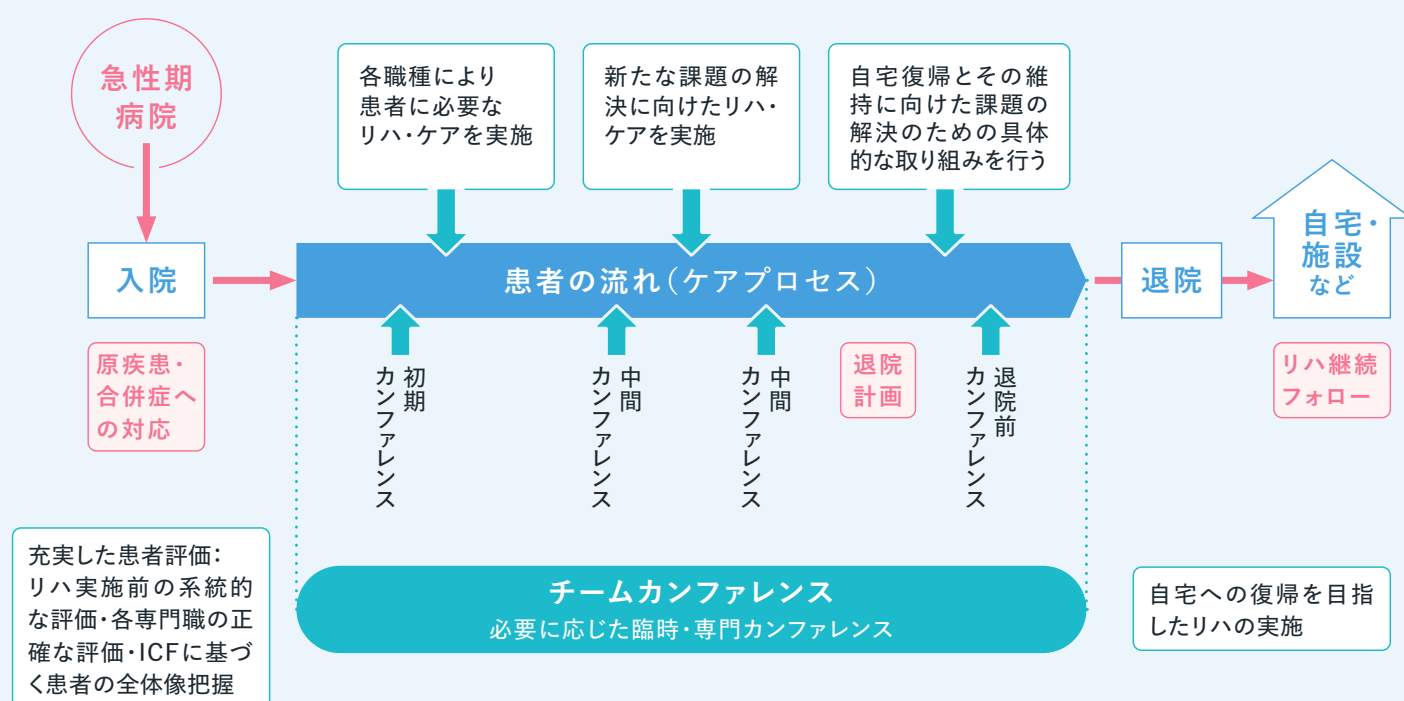
当院では脳神経内科と共にリハビリテーション科として、リハビリテーション専門医がリハビリストップ等と連携し、患者さんが当院にいらっしゃってからご自宅に帰られるまで、患者さんの状態に合わせたより適切なリハビリテーションの提供を行っています。



リハビリの詳細は **P54** へ

多職種の専門性を発揮

多職種チームによる回復期リハ・ケアの実践



医師紹介 / リハビリテーション科・脳神経内科



臨床研究センター センター長

木原 薫 (昭和55年卒)
KAORU KIHARA

専門分野 **脳卒中・リハビリテーション**

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会[指導医/専門医/認定臨床医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



副院長
総合リハビリテーションセンター センター長
熊本大学医学部医学科 臨床教授(脳神経内科)

渡邊 進 (昭和57年卒)
SUSUMU WATANABE

専門分野 **リハビリテーション・脳神経内科・脳卒中**

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会[指導医/専門医/認定臨床医]
日本神経学会[指導医/専門医]
日本脳卒中学会[専門医]
日本内科学会[認定医]
日本転倒予防医学会[代議員]
指定難病医療費助成制度[指定医]
一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会 理事



副院長
総合リハビリテーションセンター 副センター長

徳永 誠 (昭和63年卒)
MAKOTO TOKUNAGA

専門分野 **リハビリテーション・脳神経内科**

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会
[代議員/指導医/専門医/九州地方会幹事]
日本神経学会[指導医/専門医]
日本内科学会[認定医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



桂 賢一 (平成10年卒)
KENICHI KATSURA

専門分野 **リハビリテーション・脳神経内科・脳卒中**

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会[指導医/専門医/認定臨床医]
日本神経学会[代議員/指導医/専門医]
日本脳卒中学会[専門医]
日本内科学会[認定医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



時里 香 (平成11年卒)
KAORI TOKISATO

専門分野 **脳神経内科
リハビリテーション**

資格・学会等

日本内科学会[認定医]
日本リハビリテーション医学会[指導医/専門医/認定臨床医]
日本神経学会[専門医]
日本医師会[認定産業医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



本田 省二 (平成11年卒)
SHOJI HONDA

専門分野 **脳神経内科
リハビリテーション科**

資格・学会等

日本内科学会[認定医]
日本神経学会[指導医/専門医]
日本リハビリテーション医学会[指導医/専門医]
日本脳卒中学会[評議員/指導医/専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



宮本 詩子 (平成15年卒)
UTAKO MIYAMOTO

専門分野 **脳神経内科
臨床神経生理学**

資格・学会等

日本内科学会[認定医]
日本神経学会[専門医/指導医]
日本臨床神経生理学会[専門医/指導医]
日本リハビリテーション医学会[指導医/専門医/認定医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



中西 俊人 (平成21年卒)
TOSHIHITO NAKANISHI

専門分野 **脳神経内科一般**

資格・学会等

日本神経学会[指導医/専門医]
日本内科学会[総合内科専門医]
日本リハビリテーション医学会[専門医]



高島 諒 (平成28年卒)
RYO TAKASHIMA

専門分野 **リハビリ一般**





医師紹介 / 内科



小川 尚（昭和39年卒）
HISASHI OGAWA

専門分野 味覚
脳活動の非侵襲性計測
味覚の客観的検査法の開発

内科
非常勤医師

竹迫 雅弘
MASAHIRO TAKABA

所属 山鹿中央病院

医師紹介 / 産業医



二塚 信（昭和39年卒）
MAKOTO FUTATSKA

専門分野 公衆衛生学

資格・学会等
日本産業衛生学会〔名誉会員/指導医〕

GASTROINTESTINAL SURGERY

消化器外科



消化器症状は お気軽にご相談ください

胸やけや胃もたれ、下痢や便秘などの胃腸症状のある方、健診後の肝機能障害を指摘された方などの診断と保存的加療を行っています。消化器に関しては、上部内視鏡検査や腹部エコー、腹部CT、MRCPなどの精密検査が可能です。また、専門病院への紹介やセカンドオピニオンなどにも対応しています。

医師紹介 / 消化器外科



内野 良仁（昭和54年卒）
RYOJIN UCHINO

専門分野 消化器外科

資格・学会等
日本外科学会〔専門医/指導医〕
日本消化器外科学会〔がん治療認定医/指導医〕
地域包括医療ケア〔認定医〕
日本医師会〔認定産業医〕

OTOLARYNGOLOGY

耳鼻咽喉科

「飲み込む」・「話す」・ 「聞く」を専門的にサポート

脳血管疾患や神経疾患などに伴う嚥下障害に対してリハビリテーション部門と共同で診療にあたっています。患者さんの状態や希望に応じて、嚥下機能改善手術、誤嚥防止術の対応も可能です。また、難聴の患者さんへの補聴器外来も検査やフィッティングができる体制を整えています。



医師紹介 / 耳鼻咽喉科



鮫島 靖浩（昭和56年卒）
YASUHIRO SAMEJIMA

専門分野 耳鼻咽喉科

資格・学会等
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
〔専門医/補聴器適合判定医/補聴器相談医〕
日本嚥下医学会〔認定嚥下相談医〕
日本気管食道科学会〔専門医〕
日本音声言語医学会〔認定医〕

耳科領域中心の予約専門外来

- ① 真珠腫性中耳炎や慢性中耳炎など中耳疾患の診断・治療
- ② 難聴・眩暈などの神経耳科学性疾患の診断・治療
- ③ 補聴器の作成・調整

主に耳科領域を中心に予約制専門外来として診療を行います。中耳疾患については必要に応じ、入院・手術・術後処置など一貫した治療に対応しております。

難聴・補聴器外来では一般的な加齢性難聴に加え、術後耳の補聴器や耳鳴に対するTRT療法なども含めた特殊な補聴器の作成・調整にも対応致します。

医師紹介 / 耳鼻咽喉科



野口 聡（平成元年卒）
SATOSHI NOGUCHI

専門分野 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳科手術・神経耳科学

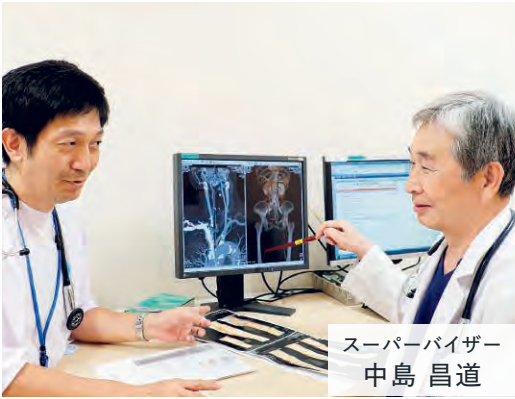
資格・学会等
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
〔認定専門医／認定補聴器適合判定医／認定補聴器相談医〕
日本医療マネジメント学会〔評議員〕

血管外科

血管疾患をトータルに管理し、
健康をサポート

主に末梢血管疾患（下肢静脈瘤、閉塞性動脈硬化症などの末梢動脈疾患）、静脈血栓塞栓症などを中心に、循環器内科、形成外科とも連携し、診断、治療を行います。また、心臓外科の経緯を生かし、心臓大血管手術の周術期管理も行います。

また、静脈瘤手術に関しては2021年から、より低侵襲な血管内塞栓術（グルー治療：逆流している伏在静脈にカテーテルを入れ医療用糊にて閉塞させる）も開始し、日帰り手術・入院のどちらにも対応しています。



スーパーバイザー
中島 昌道

○手術実績 (件)		
手術名	R5	R6
下肢静脈瘤手術	66	60
血管内塞栓術	16	18
血管内焼灼術	47	42
抜去切除術・その他	3	0
末梢動脈手術	3	0
その他	2	2
合計	71	62

医師紹介 / 血管外科



萩原 正一郎（平成2年卒）
SHOICHIRO HAGIWARA

専門分野
心臓血管外科全般
（特に末梢血管外科）

資格・学会等

日本外科学会〔専門医/認定医〕
日本脈管学会〔専門医/指導医〕
指定難病医療費助成制度〔指定医〕
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会
〔下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医〕

血管外科
非常勤医師

スーパーバイザー
中島 昌道
MASAMICHI NAKAJIMA

所属
熊本赤十字病院

循環器内科

地域に喜ばれる循環器内科を目指して

当循環器内科は、循環器疾患全般はもとより、中でも心不全、冠攣縮性狭心症の診断、治療、心臓リハビリテーションを含めた管理を得意分野としております。また、その上流にある原因の糖尿病、高血圧も当科の守備範囲として対応。“患者さんに学ぶ”から始まる実臨床での研究を通し医療レベルをアップデートしながら、高度急性期病院と地域クリニックの中間的な立ち位置という利点を活かし、医療連携のつなぎ役として地域の皆様に喜ばれる医療を提供してまいります。



	R4	R5	R6
入院患者数(年間)	219	218	216
うち心不全数	75	62	109
外来患者数(1日平均)	38	41	42
うち新患数(紹介含む)	2	2	2
心臓カテーテル件数	42	25	25
ペースメーカー植え込み(新規)／交換	5/8	16/11	7/3

	R4	R5	R6
入院心臓リハビリテーション件数	2,835	3,537	5,151
外来心臓リハビリテーション患者数(延べ)	1,067	1,262	1,584
CPX(心肺運動負荷試験)数	91	57	62

入院中だけではなく退院後も外来での心臓リハビリテーションをサポートしています。



/ 入院心臓リハビリテーション /



/ 外来心臓リハビリテーション /

心臓リハビリテーションは、心臓病を持つ患者さんが再発や再入院を防止することを目指して行います。患者さんひとりひとりの心臓の状態に応じ、医師からの運動強度などの指示に沿って血圧や脈拍、表情や会話の中で状態を確認しながら、効果的な有酸素運動や筋トレが安全に実施できるよう心がけています。

外来心臓リハビリテーションを終了した方（保険適用外の方）には
体力づくりセンターをご紹介します。

体力づくりセンターは **P63** へ



心不全教室について

週3回開催多職種による心不全教室

当科では、多職種（医師4名・看護師2名・薬剤師1名・理学療法士2名・管理栄養士1名・臨床工学技士1名・医療ソーシャルワーカー1名）の専門家が連携し、心不全で入院中の方に、再入院予防のため勉強会を週3回開催しております。心不全に対する最新の知識を提供し、在宅での自己管理方法や再発防止についてお伝えすることで、患者さんの健康をサポートできるようチームで取り組んでおります。



/ 心不全勉強会 /

心不全療養指導士：4名在籍（看護師：3名、薬剤師：1名）

医師紹介 / 循環器内科



熊本加齢医学研究所 所長

泰江 弘文（昭和34年卒）
HIROFUMI YASUE

専門分野
循環器疾患・高血圧・糖尿病
内分泌疾患・肥満・生活習慣病

資格・学会等

日本内科学会[名誉会員]
日本循環器学会[特別会員]
日本心血管内分泌代謝学会[名誉会員]



熊本健康・体力づくりセンター 所長
治験管理室 室長

原田 栄作（平成4年卒）
EISAKU HARADA

専門分野
循環器疾患・高血圧・糖尿病・肥満
スポーツメディカルチェック

資格・学会等

熊本県ラグビーフットボール協会医務委員
日本内科学会[認定医]
日本循環器学会[専門医]
日本スポーツ協会[公認スポーツドクター]
日本医師会[認定健康スポーツ医]
熊本県スポーツ協会[スポーツ医科学専門委員]
指定難病医療費助成制度[指定医]
日本心臓リハビリテーション学会[指導士/評議員]



菊田 浩一（昭和62年卒）
KOICHI KIKUTA

専門分野
循環器疾患

資格・学会等

日本内科学会[総合内科専門医]
日本循環器学会[専門医]
日本心臓病学会[上級臨床医(FJCC)]



釘宮 史仁（平成13年卒）
FUMIHITO KUGIMIYA

専門分野
循環器全般
(心臓カテーテル治療・心臓リハビリ等)

資格・学会等

日本内科学会[総合内科専門医]
日本循環器学会[専門医]
日本心血管インターベンション治療学会[認定医]
日本心臓リハビリテーション学会[指導士]
日本不整脈心電学会 心電図検定1級



牟田 真人（平成28年卒）
MAKOTO MUTA

専門分野
循環器疾患

資格・学会等

日本内科学会[専門医]
日本循環器学会[専門医]

循環器内科 非常勤医師

（※五十音順）

有馬 勇一郎
YUICHIRO ARIMA

所属 熊本大学病院

九山 直人
NAOTO KUYAMA

所属 熊本大学病院

RHEUMATOLOGY

リウマチ科

患者さんの生活に 考慮した治療を

リウマチ科では、薬物療法により関節の痛みや腫れを抑える治療をはじめ、整形外科との連携により身体の機能回復に向けて、リハビリテーションを取り入れるなどして、患者さんのQOL(生活の質)を維持できるように努めております。



医師紹介 / リウマチ科



工藤 博徳（平成4年卒）
HIRONORI KUDO

専門分野
リウマチ学・膠原病学・免疫学

資格・学会等

指定難病医療費助成制度[指定医]

NEUROSURGERY

脳神経外科

患者さんの頭痛や 機能障害の改善に

脳神経外科は、頭痛での悩み、脳疾患による機能障害への手術での改善や、脳血管障害の予防などを目的とした診療を行っています。

また、脳脊髄液漏出症で困っている患者さんの診断及びブラッドパッチなどの治療を行っています。当科は完全予約制になっていますので、ご予約を御願いたします。



○ブラッドパッチ治療件数

R4	R5	R6
41件	41件	35件

医師紹介 / 脳神経外科



江口 議八郎（昭和57年卒）
GIHACHIRO EGUCHI

専門分野
脳神経外科専門
頭痛専門

資格・学会等

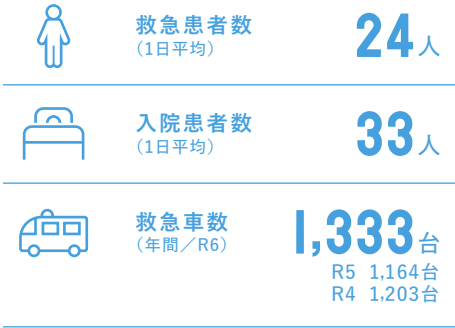
日本脳神経外科学会[専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]
日本頭痛学会[専門医]

救急科・外科

24時間、やさしい救急医療を目指しています

救急科では、救急センターを中心として24時間体制で、診療を行っております。

当院の救急センターは救急専門医と各診療科の医師が連携し、患者さんにとってやさしく、専門性の高い救急医療の提供を目指しています。



○救急外来受診疾患の内訳（R6年度）

外科系疾患	件数	内科系疾患	件数
手指切創・挫創、手指切断、手指骨折・捻挫	224	インフルエンザ（疑い含む）	460
足関節捻挫・趾骨・中足骨打撲、骨折	171	発熱・COVID-19（疑い含む）	162
鎖骨・上腕骨・橈骨骨折、尺骨遠位端骨折、脱臼	170	急性上気道炎・感冒・急性咽頭炎・咽頭痛	36
膝部挫創・打撲、膝関節捻挫、膝蓋骨骨折	112	心不全・不整脈・心筋梗塞・高血圧	29
大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折、大腿骨骨幹部骨折	105	めまい・意識障害	19
頭部挫創・打撲、顔面挫創・打撲、鼻骨骨折	95	熱中症・脱水	19
足部打撲傷・捻挫、趾打撲・挫創・捻挫	67	誤嚥性肺炎・急性肺炎・肺炎	18
頸椎捻挫、外傷性頸部症候群、頸部痛、頸椎症	56	脳卒中（疑い含む）・脳梗塞・脳出血（疑い含む）・硬膜下血腫	17
下腿打撲・挫創、下腿骨折	54	感染性胃腸炎・急性胃腸炎・胃腸炎・腹痛	17
腰痛症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板症、腰椎椎間板ヘルニア	53	頭痛	14
腰椎圧迫骨折、腰部打撲傷	40	気管支喘息・気管支肺炎・気管支炎	12
肩鍵盤断裂、肩打撲、肩関節脱臼	38	胸痛・動悸	10
肘内障、肘関節靱帯損傷・骨折・脱臼・打撲・挫創	38	腎盂腎炎	6
その他・不明	1,968	その他・不明	1,404
合計	3,191	合計	2,223

医師紹介 / 救急科・外科

理事長・救急センター長

米満 弘一郎（平成12年卒）
KOICHIRO YONEMITSU

専門分野

救急医療・外傷救急
集中治療・総合診療

資格・学会等

医学博士
日本救急医学会〔専門医〕
日本集中治療医学会〔専門医〕
日本リハビリテーション医学会〔会員〕
日本外科学会〔会員〕
日本臨床内科医会〔会員〕

救急科
非常勤医師

井 清司
SEISHI I

楯 直晃
NAOAKI TATE

山田 周
SHU YAMADA

外科
非常勤医師

門岡 康弘
YASUHIRO KADOOKA

所属

熊本大学病院

放射線科・地域医療連携画像診断センター

迅速で正確な画像診断によって診療を支える

当院の放射線科ではCT、MRI、骨密度装置などを駆使し、迅速で正確な画像診断を行うために常に努力を続けています。

また、院内における検査に限らず、「地域医療連携画像診断センター」として、近隣医療機関からの検査依頼も受け付けており、幅広い疾患の検査を数多く行っています。

地域医療連携画像診断センター

画像診断サービスを提供しています

CT（造影、心臓血管3Dも可）
MRI（造影、MRCPも可）
骨密度測定装置をご利用いただけます。

- 検査結果について
検査後の画像はCD-ROMで、
専門医による読影結果も
当日患者さんへお渡し出来ます。

- 電話にて専門医と相談も可能です。
（平日10:00～16:00まで）

医師紹介 / 放射線科・地域医療連携画像診断センター

中山 善晴（平成7年卒）
YOSHIHARU NAKAYAMA

専門分野

腹部・骨軟部画像診断学

資格・学会等

日本医学放射線学会〔専門医/診断専門医〕
日本放射線科専門医会〔会員〕
日本遠隔医療学会〔会員〕
オートプシー・イメージング学会〔会員〕

石塚 恵未（平成15年卒）
EMI ISHITSUKA

専門分野

画像診断

資格・学会等

日本医学放射線学会〔専門医/診断専門医〕

板谷 遼（平成19年卒）
RYO ITATANI

専門分野

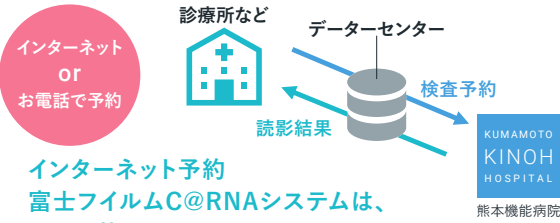
画像診断

資格・学会等

日本医学放射線学会〔専門医/診断専門医〕

	CT撮影件数	MRI撮影件数
全件数	6,807	4,872
うち外部からの依頼件数	81	166

当院では画像診断管理加算2も算定しています。
専門医にて全件数を読影し、翌診療日までに主治医に報告する体制を整えています。



インターネット予約
富士フィルムC@RNAシステムは、
24h可能です！
まずは当院予約センターへご連絡ください。
受付時間：平日8:30～17:00

麻酔科

周術期患者安全の一翼を担う

2024年度は、人手不足や医療材料費の高騰といった影響を受け、手術室の運営に一層の厳しさが求められる一年となりました。その結果、総手術件数および麻酔管理件数は、前年よりわずかに減少しました。

こうした状況をふまえ、将来的なコスト管理の観点からも、より効率的な麻酔法の検討が求められていると感じています。

一方で、手術中の患者さんの安全を最優先とする体制には大きな変更はなく、安心して手術を受けていただける環境の維持に引き続き取り組んでいます。今後も、安全で質の高い手術室・麻酔科運営を目指し、改善を重ねてまいります。



医師紹介 / 麻酔科

	副院長 矢野 敏之（昭和58年卒） TOSHIYUKI YANO 専門分野 麻酔科	資格・学会等 日本麻酔科学会〔麻酔科指導医/麻酔科認定医〕 日本専門医機構〔麻酔科専門医〕
	中山 良輔（昭和62年卒） RYOSUKE NAKAYAMA 専門分野 麻酔科	資格・学会等 日本麻酔科学会〔麻酔科認定医〕 日本専門医機構〔麻酔科専門医〕 日本輸血細胞治療学会〔会員〕
	今泉 隆志（平成5年卒） TAKASHI IMAIZUMI 専門分野 麻酔科	資格・学会等 日本麻酔科学会〔麻酔科指導医〕 日本専門医機構〔麻酔科専門医〕 ICD制度協議会 〔インфекションコントロールドクター〕
	采田 千穂（平成9年卒） CHIHO UNEDA 専門分野 麻酔科	資格・学会等 日本麻酔科学会〔麻酔科指導医〕 日本専門医機構〔麻酔科専門医〕 日本臨床麻酔学会〔会員〕
	川本 和彦（平成10年卒） KAZUHIKO KAWAMOTO 専門分野 麻酔科	資格・学会等 日本麻酔科学会〔麻酔科指導医/麻酔科認定医〕 日本専門医機構〔麻酔科専門医〕

	R5	R6
麻酔管理件数	2,197	2,166
うち全身麻酔件数 （全身麻酔率）	2,197 100%	2,166 100%

偶発症合併症名	発生率(%)
不整脈	27.1
低血圧(収縮期圧 70mmHg以下)	26.8
吐き気・嘔吐	9.4
息こらえ(人工呼吸中の一時的な呼吸の異常)	6.8
のどの痛みや違和感	6.4
高血圧(収縮期圧 200mmHg以上)	3.9
高度徐脈(脈拍数 40拍/分以下)	3.1

薬剤部

医薬品の安全使用、 適正使用に努めます



全病棟に担当薬剤師を配置し、服薬指導、薬学的管理、処方提案を行っています。

○入院中の薬剤師による服薬指導件数

R4	R5	R6
13,873件	13,333件	12,636件

○医薬品適正使用に向けた薬剤師の処方提案数

R4	R5	R6
1,354件	1,828件	1,790件



外来では手術予定患者さんの薬剤師面談を行っています。アレルギー情報や手術に影響のある薬剤などの情報を麻酔科医と共有し、周術期の安全確保に努めています。

専門知識を活かし、骨粗鬆症、心不全、パーキンソン病など、患者教育にも力をいれており、退院後の生活に重点をおいた支援をチームで行っています。治療の切れ目がないよう、これから地域の先生方と連携をすすめていきたいと思っています。



薬剤部 部長
杉山 留美子
RUMIKO SUGIYAMA

MESSAGE

『薬のスペシャリストとして、患者さんの薬物療法に責任をもつ』『薬のセーフティマネージャーとして、薬の不利益から患者さん・医療スタッフを守る』をミッションに、医薬品の安全使用、適正使用に努めています。

○資格(R7年4月現在)

名称	人数
日病薬病院薬学認定薬剤師	3名
JPALS認定薬剤師	1名
日本薬剤師研修センター認定薬剤師	2名
認定実務実習指導薬剤師	1名
医療薬学会認定薬剤師	2名
抗菌化学療法認定薬剤師	1名
感染制御専門薬剤師	1名
周術期管理チーム薬剤師	1名
骨粗鬆症マネージャー	1名
スポーツファーマシスト	1名
栄養サポートチーム専門療法士	1名
心不全療養指導士	1名
パーキンソン病療養指導士	1名
心電図検定 1級	1名
医薬品情報専門薬剤師	1名
麻薬教育認定薬剤師	1名

患者さんへ、より質の高い薬物治療を提供するために、専門知識を有する薬剤師の育成に積極的に取り組んでいます。



臨床検査部

理念

1. 患者に寄り添い、診断・治療に
役立つ迅速で正確な質の高い
検査を提供します
2. 探求心を持ち続け、
学術研究に研鑽します

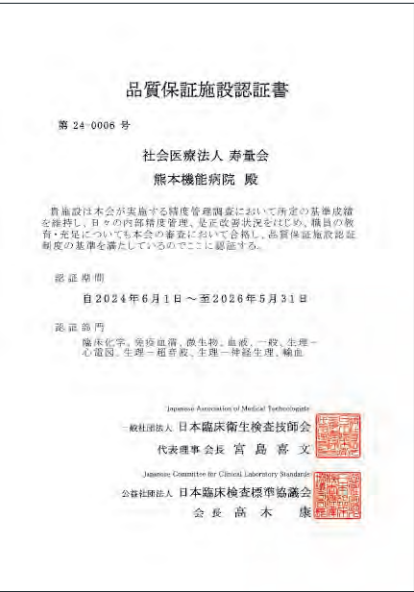
検体検査室

一般社団法人

日本臨床衛生検査技師会

「品質保証施設認証」取得中

「品質保証施設認証」とは、当院が提供する臨床検査のデータが「所定の基準成績を維持し、日々の内部精度管理、是正改善状況をはじめ、職員の教育・充足についても審査に合格し、基準を満たしている施設」と認証されたものです。



/ 品質保証施設認証 /



臨床検査部 課長

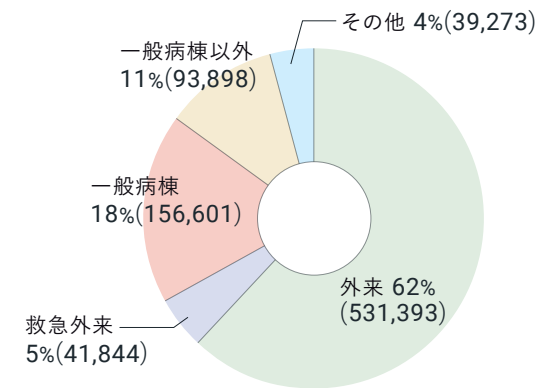
岩永 書朋
FUMITOMO IWANAGA

MESSAGE

臨床検査部は、検体検査・生理検査を通じて精度と信頼性の高い結果を提供しています。そして私たち臨床検査技師は、専門的な知識と技術に基づく確かな情報で診断や治療を支え、医療の安全と質向上に貢献しています。



検体検査実績 (R6年度)



神経生理センター・神経生理検査室

地域に開かれた共同利用型の
神経生理検査室

当院の神経生理センターは、神経伝導検査、筋電図、体性感覚誘発電位、運動誘発電位、脳波検査などの検査を日本臨床神経生理学会専門技術師と専門医が行っている、熊本県内でも数少ない共同利用型の神経生理検査室です。また、学生実習のみならず、他の施設からの研修も受け入れています。

所属技術師4名のうち
日本臨床神経生理学会専門技術師:4名

神経伝導検査 (NCS)

手足のしびれや筋力低下がある患者さんに

皮膚上で末梢神経を電気刺激し、誘発された電位をもとに、伝導速度や波形を評価して検査報告書を作成します。診療情報提供書には、日本臨床神経生理学会認定医によるコメントと検査報告書及び各波形を添付いたします。

※検査のみのご依頼もお受けいたします。

心臓生理検査室

急性期からリハビリまでトータルでサポート

心臓生理検査室では超音波検査や心肺運動負荷試験、ABI、睡眠時無呼吸検査などの生体検査を担当しております。患者さんの生体情報を正確に検査・把握し臨床医へ報告、チーム医療の一翼を担っています。当院には、日本超音波医学会の認定超音波検査士(循環器・消化器・血管)が在籍しており、精度・品質の高い検査結果の提供に努めています。

心臓生理検査実績

	R5	R6
心臓超音波	4,156件	3,877件
腹部超音波	378件	398件
体表超音波	1,061件	1,037件
血管超音波	3,757件	3,700件
心臓カテーテル(検査・治療)	25件	25件
ABI	404件	380件

神経生理検査実績

	R6
神経伝導速度(NCS)	3,103件
体性感覚誘発電位(SEP)	666件
筋電図(EMG)	118件
脳波(EEG)	106件
磁気刺激運動誘発電位(MEP)	173件
合計	4,166件

当院では下記の検査も可能です。

検査	代表的疾患
体性感覚誘発電位(SEP)	脊椎症、神経根症、腕神経叢損傷、胸郭出口症候群など
運動誘発電位(MEP)	脊椎症、運動ニューロン疾患など
針筋電図(EMG)	脊椎症、腕神経叢損傷、運動ニューロン疾患など
脳波(EEG)	てんかん
聴力精査	老人性難聴、突発性難聴など
味覚検査	味覚障害
顔面神経伝達検査	ベル麻痺、ハント症候群

神経生理センター

予約
申込

096-345-8111(代)

(内線2570) 受付時間 /月～金9:00～16:30



	R5	R6
CPX	57件	60件
ホルター心電図	155件	134件
安静心電図	7,737件	7,394件
肺機能	2,056件	1,975件
睡眠時無呼吸(簡易型・精査型)	33件	16件

看護部

看護部基本方針

尊重
Respect

支援
Support

協働
Collaborate



看護部 部長
荅 美恵子
MIEKO TSUBOMI

MESSAGE
看護部は『一人一人を尊重した最適な看護を提供します』の理念のもと、「尊重」「支援」「協働」を基本方針として、思いやりのある心温かい看護・介護を提供することを目指しています。

R6年度の主な取り組み

院外での看護研究発表10演題



学会名：第55回 日本看護学会学術集会
会 期：R6年9月27日・28日・29日
会 場：熊本県熊本市 熊本城ホール
演 題：退院支援の質向上を目指し
～看護スタッフの環境調整に対する意識向上を図るための取り組み～
発表者：回復期8病棟 師長 中山 孝二

コメント
「患者」を「生活者」として住み慣れた地域へ。後遺症があってもその人らしい生活・人生が送れる事を目標として、今後も退院支援に取り組んでいこうと思います。

学会名：第65回 全日本病院学会in京都
会 期：R6年9月28日・29日
会 場：京都府京都市 国立京都国際会館
演 題：自宅退院を希望されるが、入退院を繰り返す高齢独居心不全患者へ
多職種で関わる事の重要性を認識した事例
発表者：本館2階病棟 藤本 綾乃

コメント
心不全パンデミックと言う言葉のとおり、重症心不全患者を在宅に帰す取り組みは年々困難を期すばかりです。多職種協働での取り組みを行い患者の意志決定に寄り添えた事例でありました。ポスターによる発表でしたが、座長賞をいただき大変励みとなる機会でした。



学会名：回復期リハビリテーション病棟協会第45回研究大会in札幌
会 期：R7年2月21日・22日
会 場：北海道札幌市 札幌コンベンションセンター
演 題：センサーコール解除基準の明確化に向けて
発表者：回復期2病棟 河野 聡子

コメント
患者さんの安全を守りながら必要のないセンサーコールの解除ができないか、看護の視点で研究しました。他病院でも同じように悩まれ、多くの質問が寄せられました。今後も継続した研究を進めていきたいと思ひます。

質の高い看護ケア実践のための専門的知識・技術取得

●認知症看護認定看護師資格取得(特定行為研修含む)



認知症認定看護師

○資格(R7年4月現在)

名称	人数
認定看護管理者	1名
認知症看護認定看護師	2名
感染管理認定看護師	2名
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	2名
摂食・嚥下障害看護認定看護師	2名
日本禁煙学会 専門指導看護師	1名
回復期リハビリテーション看護師	5名
自己血輸血認定看護師	1名
糖尿病療養指導士	2名
骨粗鬆症マネージャー	3名

※他資格あり



/ 認知症ラウンドの様子 /

海外からの介護スタッフ活躍中



Instagramで情報発信

2023年より熊本機能病院看護部Instagramを開設し様々な情報を発信しています。現在フォロワー数500を超えました。



NUTRITION DEPARTMENT

栄養部

「楽しい食事」と
「適切な栄養管理」で
入院生活をサポート

R6年度は新しい取組みとして、嚥下障害がある患者さんにも安全に美味しく食べて頂けるデザート(インクルーシブスイーツ)作りをスタート致しました。



インクルーシブスイーツ
クリスマスケーキ

- 味めぐり
第7弾
フィリピン料理
- ・ご飯
 - ・チキンアドボ
 - ・野菜と柿のサラダ
 - ・エビと筍の炒めもの
 - ・コンソメスープ
 - ・フルーツサラダ



○資格(R7年4月現在)

名称	人数
NST専門療法士	2名
在宅訪問管理栄養士	1名
糖尿病療養指導士	4名
骨粗鬆症マネージャー	1名
病態栄養専門管理栄養士	1名

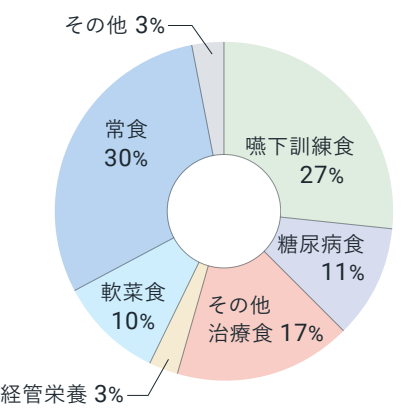


～3月行事食 お雛様ちらし寿司～

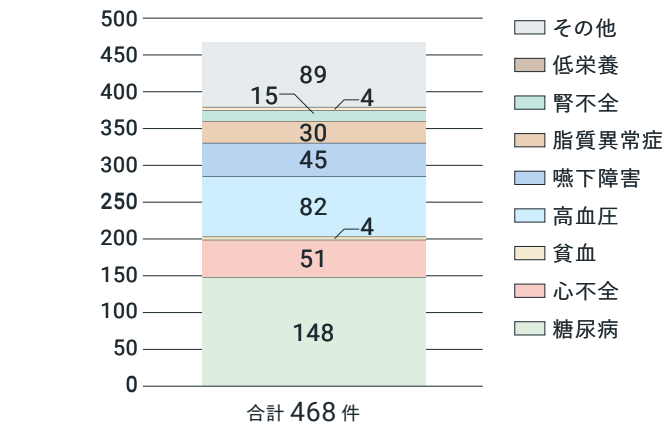


患者さんからの
ありがとうメッセージ

○R6年度提供食数内訳(%)



○R6年度栄養指導内訳(件数)



MEDICAL SAFETY MANAGEMENT DEPARTMENT

医療安全管理部門

医療の安全を守る
専門スタッフ

当院は医療安全管理部門として、医療安全管理室、院内感染管理室、医療機器安全管理室、医薬品安全管理室、医療放射線安全管理室を設置しています。部門責任者を配置し、それぞれの専門スタッフが組織横断的に活動しています。

医療安全管理室

○インシデント事例の収集、保管、分析、
結果のフィードバック

○具体的な改善策の提案・支援

○職員研修の企画・運営

- 全体研修会(年2回)、新入職員研修、急変時対応研修など

○医療安全推進のための活動

- 医療安全推進週間(5月、11月)
- 院内ラウンド(月1回)
- 転倒転落予防ワーキングチームによる環境ラウンド/事故検証
- 医療安全情報・ニュース配信
- 医療安全目標と活動指標による管理
- 表彰:グッドキャッチ賞および医療安全推進賞

○医療安全対策地域連携相互評価(連携医療機関相互に年1回)

- 連携医療機関:済生会熊本病院、熊本赤十字病院、寺尾病院



医療安全管理室
室長(看護師)
中尾 和代
YASUYO NAKAO

MESSAGE

医療安全管理者(専従)として、病院全体の医療安全管理業務に携わっております。組織横断的な活動を通して、患者安全・医療の質改善に取り組むことで患者さんや地域に信頼される病院を目指しております。



/ 転倒予防WG環境ラウンド /



/ 医療安全院内ラウンド /

院内感染管理室

○ICTラウンド

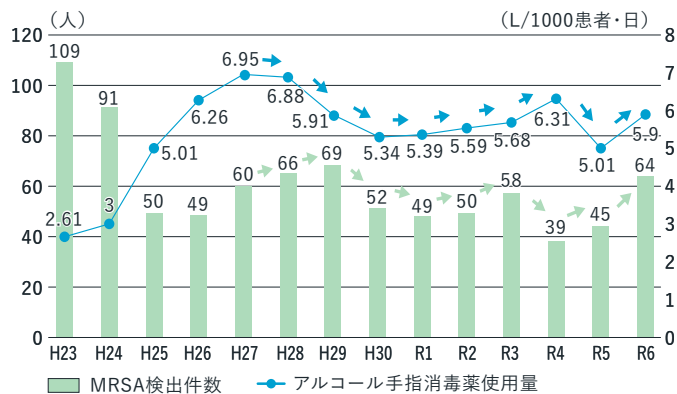
- 耐性菌検出者・抗菌薬使用者・発熱嘔吐下痢者の感染対策状況の確認 1回/週
- 手指衛生実施状況確認フィードバック 1回/週

○院内の耐性菌検出状況の分析・フィードバック 1回/月

○医療関連サーベイランス (耐性菌・発熱・嘔吐下痢・SSI)実施

○アルコール手指消毒薬使用量調査・フィードバック

■過去14年間のMRSA検出件数と アルコール手指消毒薬使用量の推移



○教育

- 院内全体研修 2回/年
- 手指衛生 86回
- 流行性疾患対策 58回
- 新興感染症の発生を想定した個人防護具着脱実地研修(院内) 34名参加

○職業感染対策としてのワクチンプログラムの実施

- B型肝炎・小児ウイルス疾患ワクチン
- インフルエンザワクチン



院内感染管理室 室長

山本 美紀
MIKI YAMAMOTO

MESSAGE

院内感染管理室は様々な感染症から、患者さんや私たち職員を守るために、適切な院内感染対策の立案、実施、啓発を行う部署です。院内感染リスクを最小限に抑え、安心な医療環境を整えるために活動しています。

○感染防止対策地域連携

- 熊本県北病院・阿蘇医療センターと感染防止対策地域連携のための相互チェックを実施
- 鶴田病院・菊南病院・合志第一病院・寺尾病院と4回/年以上のカンファレンスの開催
- 鶴田病院・菊南病院・合志第一病院・寺尾病院からの相談対応・新興感染症の発生を想定した訓練実施 43名参加



/ 院外からの新興感染症の発生を想定した訓練実施 /

医薬品安全管理室

『ハイリスク薬の誤薬ゼロ』を目指します

2023年4月より、医薬品安全管理室が設置されました。医療安全管理部門と連携しながら、医薬品を安全に使用できる体制の確保に努めています。

医薬品安全管理責任者の指示のもと、薬剤師が中心となり、薬のセーフティマネージャーとして薬の不利益から患者さん・医療スタッフを守るために、医薬品安全使用に関する研修会や、医薬品安全使用のための方策の実施、また医薬品使用の手順が遵守されているかのチェックなどを行っています。

「ハイリスク薬の誤薬ゼロ」を目標に、特にハイリスク薬に重点をおいて取り組みを行っており、昨年度は、注射薬のダブルチェックをハイリスク薬に集中するよう手順を変更しました。

医療機器安全管理室

○医療機器適正使用に向けての情報動画提供

YouTube 熊本機能病院 医療機器安全管理室チャンネル開設
年間視聴数1,738回(6コンテンツ 公開中)

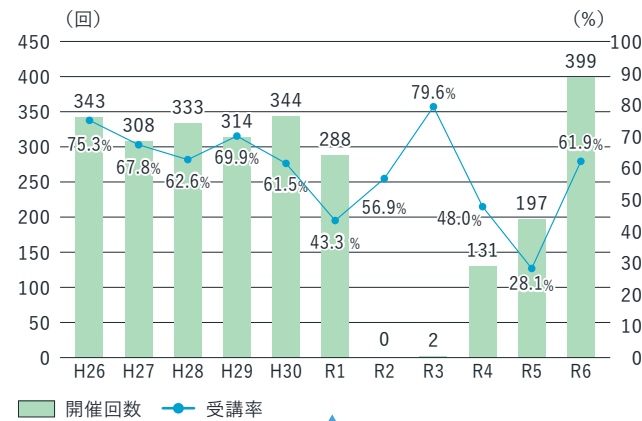
○ハンズオントレーニング受講、動画視聴の推進

○医療機器理解度確認テスト Googleフォームにて作成と実施の推進 (2コンテンツ 公開・実施推進中)

○メンテナンスサポート終了機器・消耗品、供給停止機器等の更新

医療機器等の保守・更新スケジュールに沿った機器の更新

■ハンズオントレーニングセミナー実施状況



R2.3年度	ハンズオントレーニングは開催せず e-ラーニング受講
R4年度	YouTube 動画視聴の推進・ ハンズオントレーニング(希望者)
R5年度	ハンズオントレーニング(ラダーIII、部会)・ 受講者の各部署でのレクチャー
R6年度	医療機器安全管理室が講師となり開催



医療機器安全管理室 室長

山田 佳央
YOSHIO YAMADA

MESSAGE

医療機器安全管理室では、「医療機器の安全及び効率的な運用の追究」を目的に、私を含め3名の臨床工学技士(CE: Clinical Engineer)が活動しています。医療機器についてのご質問等、何時でもお受けしますのでは非お声掛け下さい。

近年発生している医療事故の多くは、医療機器の誤操作や取扱いミスなど、機器に起因するトラブルが要因となっています。これを防ぐためには、医療従事者が医療機器について正しい知識と操作技術を身につけることが重要です。しかし、現状の学校教育では医療機器に関するカリキュラムが十分に整備されておらず、基礎的な知識すら十分に習得できていない場合が多く見られます。また、現場でも機器の使用頻度が限定的であるため、経験豊富な先輩からのOJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)に頼ることも難しい状況です。こうした背景から、当院では医療機器安全管理室が中心となり、看護師さんを対象としたハンズオントレーニングを実施しています。実機を使って操作方法や注意点を学ぶことで、機器の安全な使用を支援しています。



医療放射線安全管理室

最適化した放射線検査を提供します

2024年4月より、医療放射線安全管理室が設置されました。医療放射線安全管理において、被ばく線量の適正化は重要な課題です。診断参考レベル(DRLs)は、医療被ばくの最適化を目指し、各検査における基準値を示す指標です。2020年版DRLsでは、診断用CTやIVR、核医学などの分野で基準値が改定され、より詳細な管理が可能となりました。これにより、医療機関は患者さんの安全を確保しつつ、放射線診療の質を向上させることが期待されています。当院でも線量管理体制の構築が整っており、専用システムを活用した記録・評価を行っています。

総合リハビリテーション部

最高のリハビリテーションサービスを目指します

1981年の開院時からリハビリテーションの専門病院として、常に新しい知識や技術を取り入れ、質の高いリハビリテーションサービスを提供するため努力しています。先進機器の導入も積極的に取り組んでいます。



理学療法課 課長
三宮 克彦
KATSUHIKO SANNOMIYA



作業療法課 課長
今田 吉彦
YOSHIHIKO IMADA



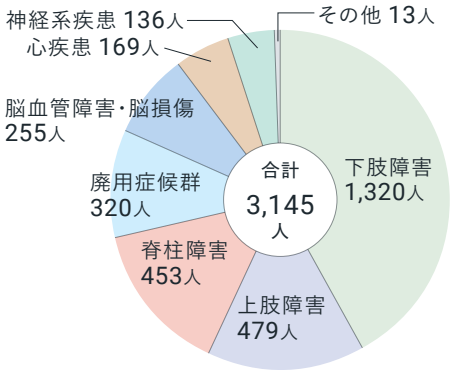
言語聴覚療法課 主任
竹谷 剛生
MASAO TAKETANI



口腔リハ課 主任
古川 由美子
YUMIKO FURUKAWA

理学療法課・作業療法課・言語聴覚療法課

○入院リハビリテーション対象疾患内訳（R6年度）



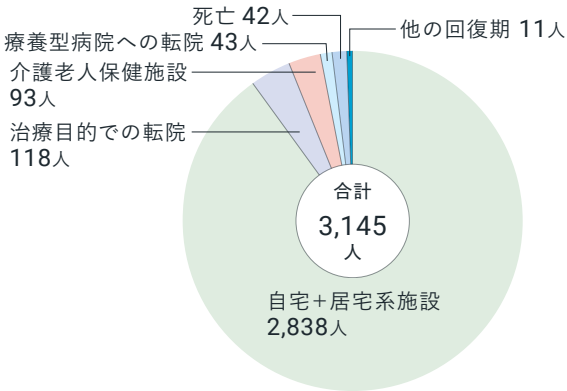
○疾患別患者内訳（R6年度）

	患者数	年齢	在院日数	在宅復帰率
運動器	2,244人	69.9歳	34.8日	93.5%
心大血管	167人	83.3歳	25.5日	82.0%
脳血管疾患等	420人	73.5歳	60.0日	83.8%
廃用症候群	314人	81.0歳	33.0日	79.6%
総計・平均	3,145人	72.2歳	37.5日	90.2%

○疾患別FIM利得（R6年度）
(平均点)

	入院時FIM	退院時FIM	FIM利得
運動器	98.9点	111.4点	12.5点
心大血管	81.8点	91.9点	10.0点
脳血管疾患等	74.1点	89.9点	15.8点
廃用症候群	68.3点	80.6点	12.4点
総平均	91.6点	104.4点	12.8点

○退院先（R6年度）



○外来リハビリテーション対象疾患内訳（R6年度）

	人数	割合
手外科疾患	706人	29.8%
膝・足関節・足部疾患(障害)	622人	26.2%
肩・肘疾患(障害)	351人	14.8%
口唇口蓋裂	200人	8.5%
言語発達遅滞・構音障害	148人	6.2%
脊椎疾患(障害)	96人	4.1%
骨盤・股関節疾患(障害)	89人	3.8%
循環器疾患	60人	2.5%
脳血管疾患・脳損傷	52人	2.2%
神経疾患(障害)	20人	0.8%
その他	26人	1.1%
総計	2,370人	100.0%

口腔リハ課

R6年度 口腔評価実績(延件数)

熊本機能病院	1,067人(1,637件)
--------	----------------

R6年度 訪問歯科診療実績(治療延件数)

熊本機能病院	281人(419件)
--------	------------

内訳：う蝕-73人、義歯修理・調整-144人、義歯新製-29人
口腔ケア-24人、粘膜疾患-6人、外傷-5人

訪問歯科連携センター

訪問歯科連携センターでは入院患者さんに対して、地域の歯科医院と連携をとりながら、口腔疾患の改善・口腔ケアの徹底・誤嚥性肺炎および窒息事故等の発生を予防し、その後の医療を円滑に行うことに貢献するとともに、摂食・嚥下障害や口臭などに対する専門的な医療対応を、病院の医師や他のスタッフの協力を得て行い、患者さんのQOL向上に貢献します。



臨床心理部門

○公認心理師(臨床心理士)介入患者数(R6年度)

	人数
一般病棟	1人
障害者施設等一般病棟	3人
地域包括医療病棟	1人
地域包括ケア病棟	4人
回復期リハビリテーション病棟	38人
合計	47人



R5年度より設置された臨床心理部門では、人生の途上で障害を負った患者さんやそのご家族の心理面をサポートします。心理状態を専門的に評価し、患者さんのリハビリテーション上での心理的環境を整えていけるよう多職種と協同します。

NARC

(Neuro-activation Rehabilitation Center)

科学に基づくリハビリテーションを
実践しています

Neuro-activation Rehabilitation Center(NARC：ナーク)は私たちが信条とする「科学に基づくリハ」を実践するための部門です。「神経活性化」の考えを軸として、先進機器や新しい概念を当院リハに取り入れるための情報収集、導入後の振り返り評価や学会等を通した報告などを実践しています。

当院のリハ関連先端機器としては、ウェルワーク(歩行支援ロボット)、IVES(随意運動介助型電気刺激装置)、Hondaセーフティーナビ(ドライビングシミュレータ)、ウォークエイド(歩行神経筋電気刺激装置)、バイタルスティム・ジェントルスティム(嚥下専用電気治療器)等を導入しています。

総合リハビリテーションセンター長 渡邊 進

■ NARC 導入実績



Driving Simulator

自動車運転に必要な評価と運転技術のシミュレーション練習を行います



IVES

筋活動にあわせて、電気刺激を筋肉に出力して麻痺した手足を治療する低周波治療器です



TS-MYO

筋肉に生じる電氣的活動の計測・評価を行い、回復程度の確認や治療方法の選択を行います



TOYOTAウェルウォーク ww-2000

ロボット脚で片側の股/膝/足関節をアシストして正常歩行に近い状態で歩行練習を可能にするロボットです

言語聴覚療法対象疾患

○成人脳損傷患者(回復期リハビリテーション) (R6年度)

	患者数
失語症	55人
高次脳機能障害	97人
構音障害	117人
摂食嚥下障害	135人

○小児新規対応症例数(外来) (R6年度)

	患者数
口蓋裂	12人
吃音	16人
機能性構音障害/言語発達遅滞	53人
舌小帯短縮症	3人

○ウェルウォーク使用者の歩行能力の変化 (R6年度)

平均年齢:61.9歳 平均実施日数:47.1日

	開始時	終了時
歩行不能	18人	4人
介助歩行	4人	7人
見守り歩行	0人	7人
独立歩行	0人	4人

○脳卒中患者入退院時の歩行能力の変化 (R6年度 198名)

	入院時	退院時
歩行不能	86人	33人
介助歩行	29人	21人
見守り歩行	34人	20人
独立歩行	49人	124人



Gentle Stim.

脳卒中やパーキンソン病などの神経疾患等に起因する摂食嚥下障害に対して用いる干渉波刺激機器です

MEDICAL COOPERATION DEPARTMENT

医療連携部

医療・介護・福祉の連携強化を図る

当院では、療養に伴う様々な不安や心配ごと等について、医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)が福祉の立場から、患者さんやご家族のご相談に応じて問題解決のお手伝いをします。

■医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)業務

入院初期から患者さんが自分らしい生活を続けていくための様々なサービスの利用や方法を一緒に考えます。患者さん・ご家族・病棟退院支援社会福祉士・退院支援専任社会福祉士・病棟看護師・退院支援専従看護師にてカンファレンスを実施しています。

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	15:00	16:30
朝礼	多職種カンファレンス	退院前カンファレンス	インテーク面接 入退院支援カンファレンス	昼食	退院前 住宅訪問	患者・家族 面接	電子カルテ MSW記録 終礼

退院後の生活について検討し、介護保険サービス等の利用調整を行います。ケアマネジャーをはじめとする在宅スタッフに参加します。

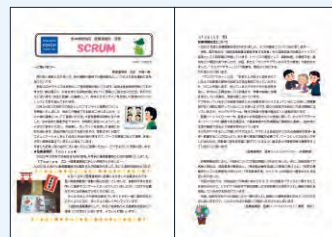
入院して間もない患者さん、ご家族から入院前の生活状況や退院後の生活に関するご意向などのお話を伺い、退院に向けて一緒に考えさせていただきます。

患者さんが円滑に在宅生活を送ることが出来るよう、関係スタッフ(理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、福祉用具業者など)が自宅を訪問し、住環境の把握から自宅での動作指導・生活指導やご家族への介護指導および福祉用具の選定・住宅改修の提案を行います。

■在宅サービスとの連携

患者さん・ご家族の抱えるニーズを把握し、問題の解決を図るため、様々な関係機関・関係施設と密な調整・連携を行っています。退院前住宅訪問や退院前カンファレンスを開催し、在宅サービスを担う皆様と情報共有を行っています。また、安心、安全な退院へ向けて連携を強化しています。

○広報誌「SCRUM」



手作りの広報誌「SCRUM」を年3回お送りしています。職員の「顔が見える」誌面を心がけています。

～紙面の例～

- ・医療連携部のトピックス(新入職員の紹介、学会参加の報告等)
- ・医療ソーシャルワーカーの病棟配置
- ・職員コラム・・・本や漫画の紹介、身近な出来事、最近感じたこと

○地域連携のつどい



近隣の連携先事業所を対象に、当院の体制を知ってもらい、顔の見える関係を作り、患者の退院支援に活かすことを目的に開催しています。前半は当院スタッフが講演を行い当院の活動や強みを伝え、後半のグループワークで日頃の連携のご要望を伺っています。

日程	テーマ	参加者数
R6 9/19	共に考えましょう!患者の意思決定支援	26名

熊本市高齢者支援センター

ささえりあ清水・高平

(熊本市北3地域包括支援センター)

清水校区・高平台校区在住の高齢者の相談窓口

ー熊本市の委託で運営ー



職員体制:7名
(社会福祉士、生活支援
コーディネーター、主任介護
支援専門員、保健師、看護師)

■主な取り組み

○介護予防ケアマネジメント業務

R6年度ケアプラン作成件数 2,299件

○一般介護予防事業

R6年度「通いの場」新規立ち上げ2件、「通いの場」運営継続支援43件、住民向け研修会・出前講座開催33件

○権利擁護業務

R6年度 権利擁護関連研修会2回開催、認知症カフェ運営支援10回、キッズサポーター養成講座1回開催(高平台小学校4年生107名対象)、高齢者虐待対応10件

○包括的・継続的ケアマネジメント業務

R6年度 自立支援型地域ケア会議7事例検討、課題解決型地域ケア会議6回開催、医療介護関連研修会4回開催、北3圏域介護保険事業所交流会1回開催

○生活支援体制整備

社会資源情報を収集し地域ケア計画を作成

○地域団体・関係機関とのネットワークづくり

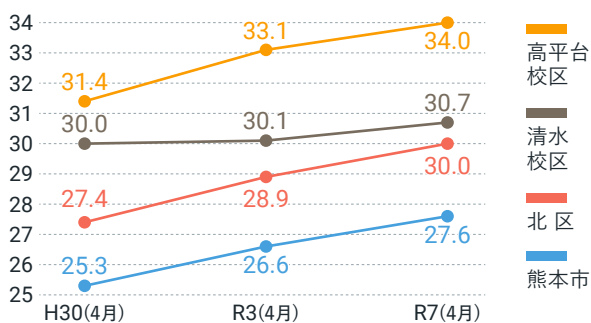
R6年度 地縁団体、行政、介護保険事業所等とのネットワーク会議59回

○広報活動

R6年度 ささえりあ清水・高平便り4回発行、ささえりあ清水・高平公式ライン、メールでの情報発信、地域イベントでの周知86件、管内の金融機関や店舗へのチラシ配布38件

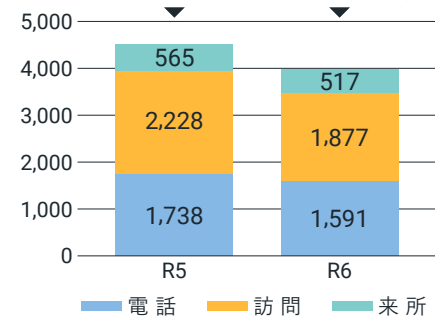
○高齢化率推移(%)

高齢者人口 | 清 水/3,371人(前期1344,後期2027)高齢化率30.7%
R7.4.1現在 | 高平台/4,258人(前期1758,後期2500)高齢化率34.0%



○総合相談件数(件)

合計 4,531件 (新規相談実人数 1,162人)
合計 3,985件 (新規相談実人数 1,290人)



熊本市北3地域包括支援センター
主任

徳永 亜希子
AKIKO TOKUNAGA

MESSAGE

ささえりあでは清水・高平台校区在住の高齢者と、その高齢者を支える関係者からの様々な相談に対応しています。住民主体のサロンの運営支援や高齢者支援に関する社会資源情報の提供も行っています。お気軽にお問合せください。



/「ちいきの作品展」の様子/



/ ケアマネジャー・民生委員合同研修会の様子 /



/ 高平台小学校キッズサポーター養成講座 /

清雅苑 / ホームケアサポートセンター

さまざまな施設と連携し、地域ケアを実現する

清雅苑は、昭和63年10月に熊本県第1号の老健施設として開設しました。

要介護状態にある方に専門性の高いリハビリテーション・ケアを提供し、在宅復帰を積極的に進めるとともに、在宅復帰後の生活をホームケアサポートセンター(在宅サービスの総合相談窓口)と連携して支援しています。



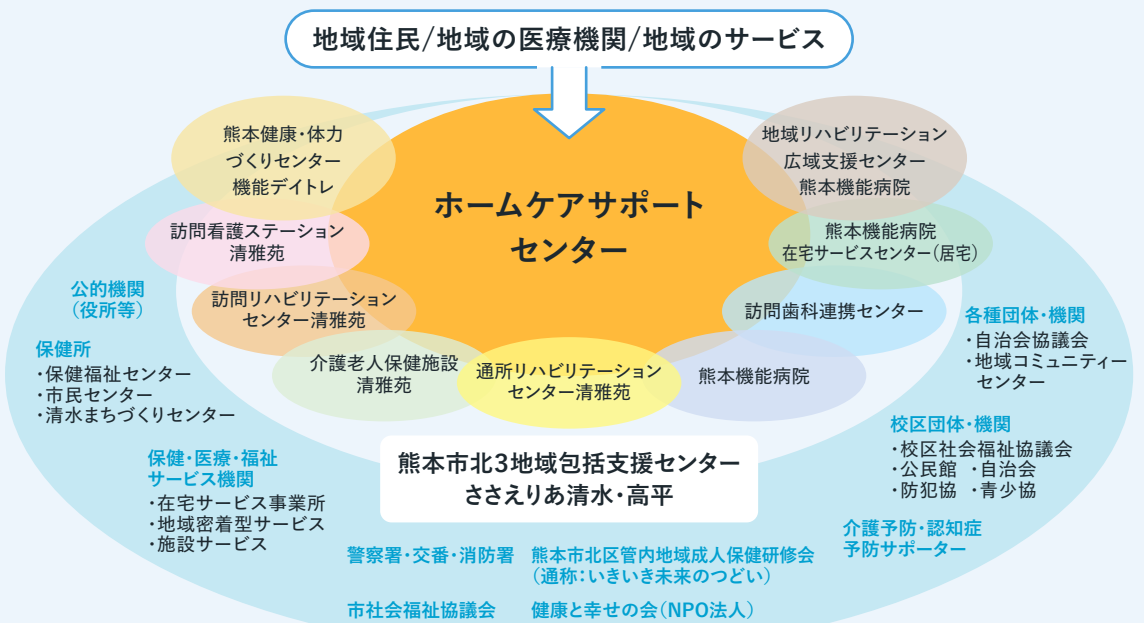
介護老人保健施設清雅苑
施設長

野尻 晋一
SHINICHI NOJIRI

MESSAGE

昭和63年の開設以来、在宅復帰・在宅支援に力を入れて参りました。在宅超強化型老健として医療機関退院後の円滑な在宅復帰の促進、その後のQOLの高い在宅生活の支援にホームケアサポートセンターとともに活動しています。

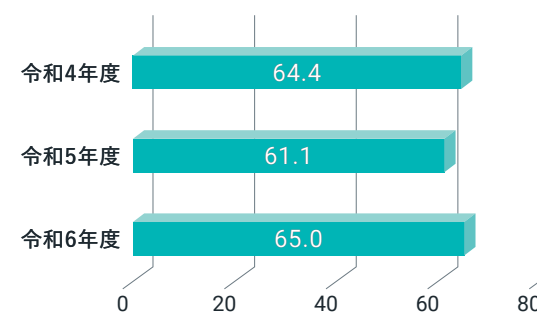
ホームケアサポートセンターを中心とした地域ケアサポートシステム



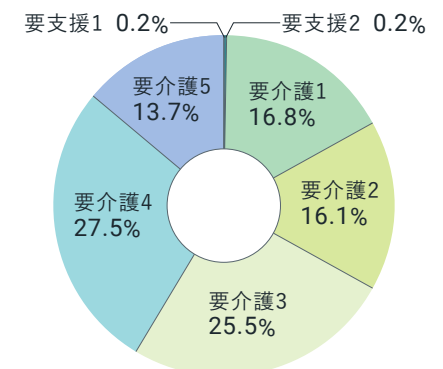
介護老人保健施設 清雅苑(在宅超強化型老健)

高い在宅復帰率を誇り、全国で30%未満しかない在宅超強化型老人保健施設を維持しています。多職種協働により常に在宅生活を意識した、リハビリテーション・ケアをご利用者の状態像に合わせ提供しています。

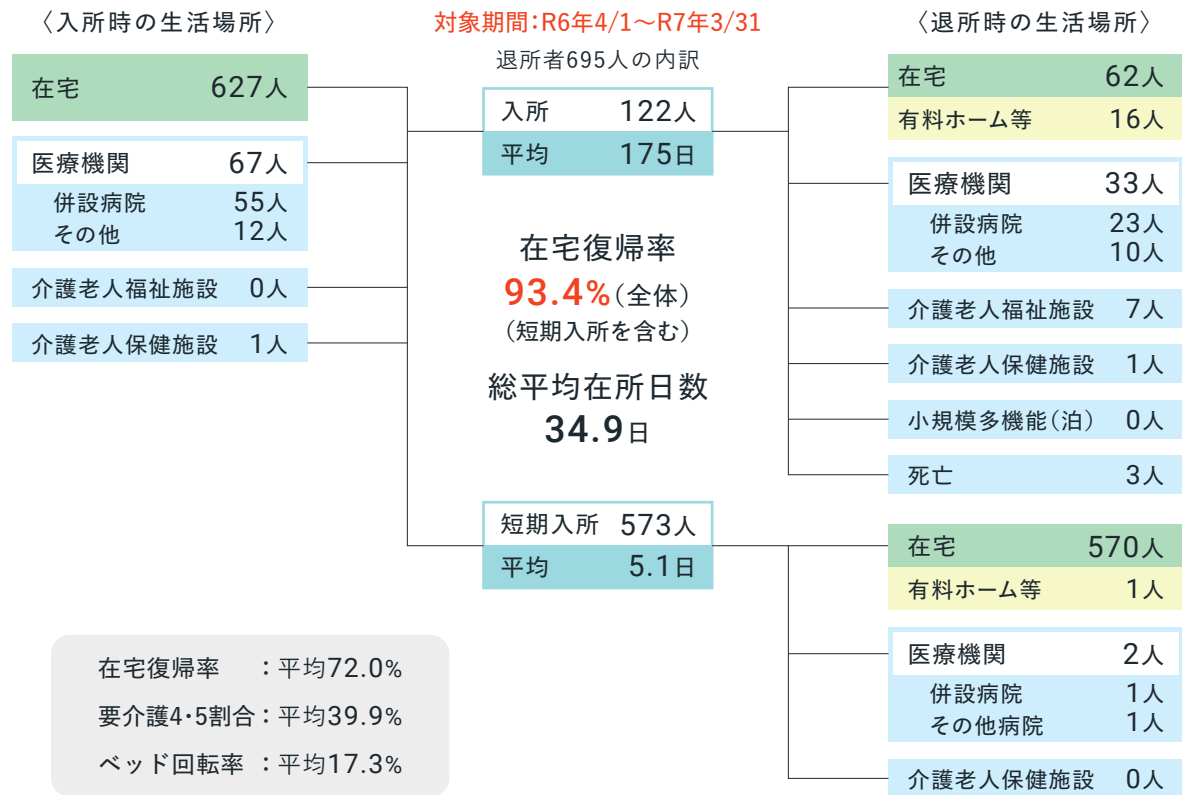
○1日当たり平均入所者数(短期入所含む)



○平均要介護度(入所、短期入所)(R6年度)



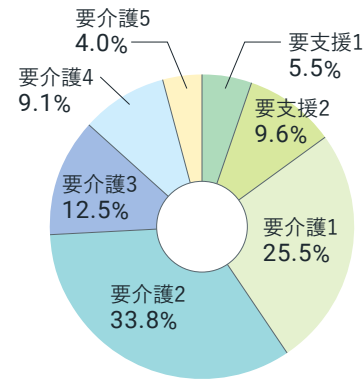
○清雅苑入所者の流れ



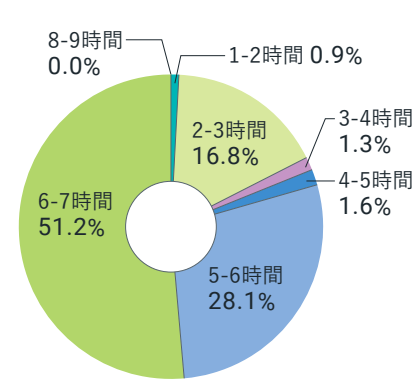
■通所リハビリテーション

できるだけ自立し活動的な在宅生活が送れるように、充実した専門職が、医師の医学的管理に基づいて質の高いリハビリテーション・ケアを提供します。リハビリの提供プロセスを管理するリハビリテーションマネジメントも、最もグレードが高いリハビリマネジメントを取得しています。

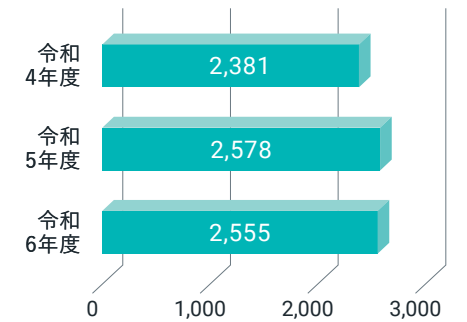
○要介護度の分布 (R6年度)



○利用時間の割合 (R6年度)



○一月当たり平均通所利用者数



/ リハビリテーション・口腔・栄養の一体的取り組み /



/ 障がい者スポーツ大会参加へ向けた練習と利用者の応援風景 /
(活動と参加への支援の一例)

○科学的介護情報システム(LIFE)への取り組み



◀当施設での科学的介護情報システムLIFEへの取り組みは厚生労働省の冊子や雑誌等で好事例として取り上げられています

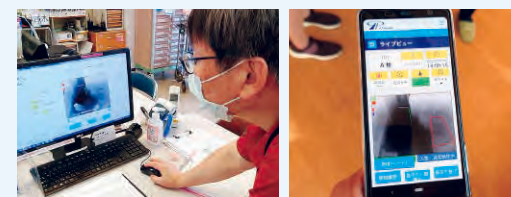
○介護ロボットの活用

A.I.Viewlife

自立支援型見守りロボット
導入しています!



広角IRセンサーを採用することで、従来センサーでは不可能であった居室の全エリアを対象とした危険予兆動作と危険動作を検知することができます。また、生体センサーと組み合わせて常時見守りをすることで、重大な事故の防止につなげる

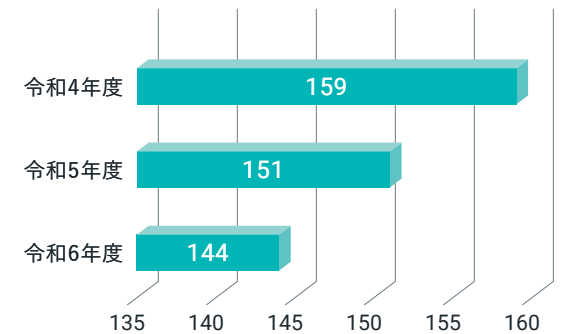


スタッフルーム、スマホで設定、確認、応答ができる!

■居宅介護支援事業所 熊本機能病院在宅サービスセンター

熊本機能病院、介護老人保健施設清雅苑相談室、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリなどのスタッフと適切な連携を取りながら利用者及び、その家族に応じたきめ細やかなサービスを提供しています。

○一月平均 取扱件数



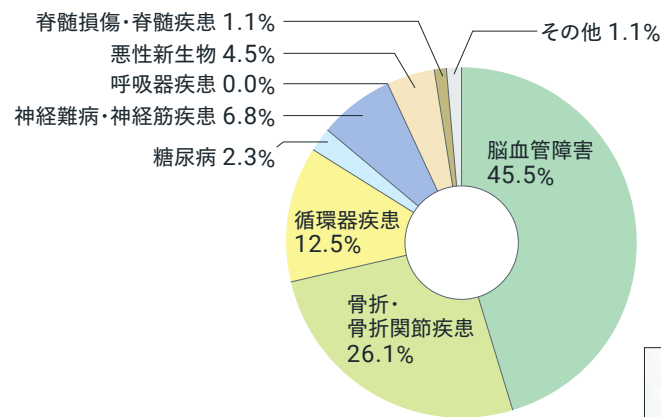
R6年度

介護支援専門員	5名(専従4名・兼務1名)
基礎資格	保健師・看護師・介護福祉士

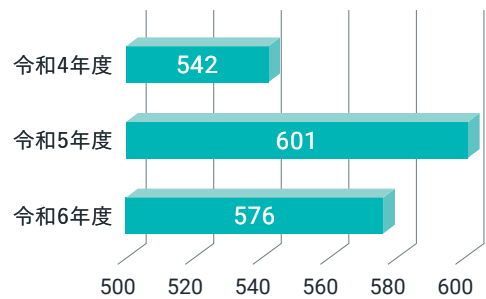
訪問リハビリ

退院・退所後及び在宅で生活機能が低下した方の心身機能の維持向上、生活の自立、地域参加を目指し、状態像に合わせたリハビリを実施します。

○訪問リハビリテーション疾患別分布(R6年度)



○訪問リハビリテーション一月平均延べ件数



2013年に当事業所の訪問リハビリテーションの戦略を書籍化しスタッフ教育にも力を入れています。



訪問リハでもLIFEデータの積極的活用事業所にフィードバックされたデータを基にリハサービスの内容を検討している様子

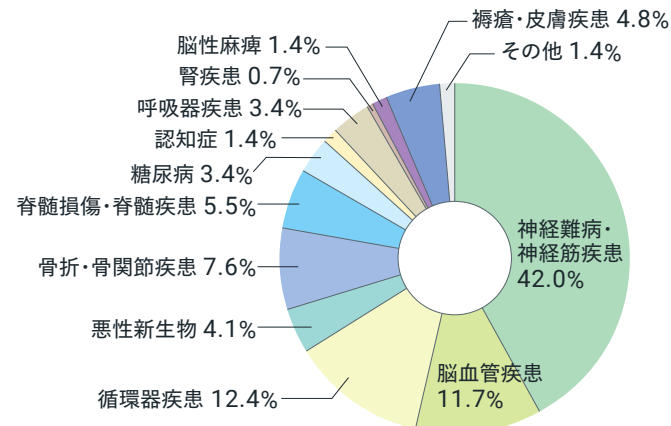
訪問看護

小児から高齢者まで幅広く対応しています。医療ケアの他、地域のクリニックの先生からの依頼でターミナルの患者さんを受け入れ、在宅生活が安心して送れるよう、緊急体制、定期訪問、臨時訪問がいつでも可能な体制をとっています。

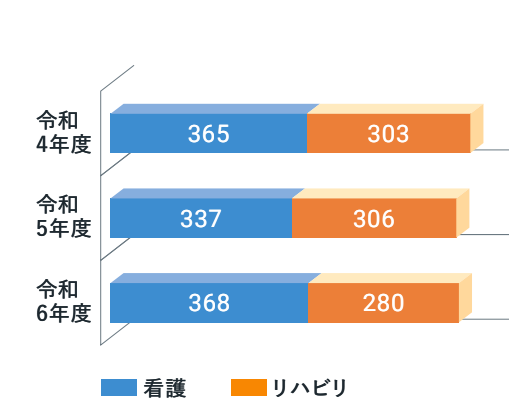
併設病院からの退院後の難病の患者さんは入院中より医療連携部と連携しながら、情報を共有し、スムーズに在宅へ移行できるように支援しています。医療保険も対応しています。



○訪問看護ステーション疾患別分布(R6年度)

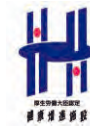


○訪問看護ステーション一月平均延べ件数



INSTITUTE OF TOTAL FITNESS/DAY TRAINING

熊本健康・体力づくりセンター 通所介護 機能デイトレ



厚生労働大臣認定
健康増進施設 指定運動療法施設



熊本健康・体力づくりセンター
所長
原田 栄作
EISAKU HARADA

MESSAGE

熊本健康・体力づくりセンターへ、ようこそ。私たちは、寿量会の理念であるソーシャルインクルージョンに基づき、病気やけがの有無、年齢に問わず、すべての方の体力づくりを支援しています。楽しんでご利用いただける、あたたかい空間を目指しています。

熊本健康・体力づくりセンター

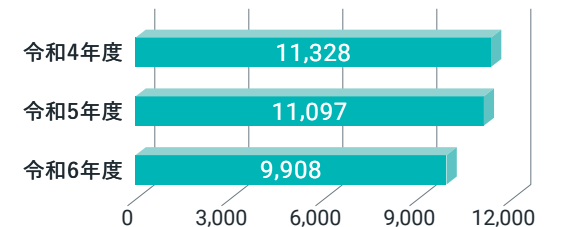
スポーツ選手から高齢者まで、 健康と体力づくりを専門的にサポート

熊本健康・体力づくりセンターは、厚生労働大臣認定の指定運動療法施設です。

地域の方、患者さん、スポーツ選手等のフィットネスプログラムを熊本機能病院と連携して提供します。



○トレーニングルーム利用者数



○主な取り組み 外来心臓リハビリテーションを 熊本機能病院と連携して実施

介護予防事業	大津町、宇城市、熊本市
スポーツ事業	鹿本高校、熊本国府高校、済々黌高校、九州東海大学、再春館製薬、熊本第一高校、菊池女子高校
メディカルチェック	ロアッソ熊本

熊本健康・体力づくりセンターでは
ホームページでブログも書いています。
タブレット、スマートフォンにも対応しています。
<http://medicalfitness-kumamoto.com/>



通所介護 機能デイトレ

ご利用者の自己実現と笑顔をサポート

機能デイトレでは介護認定を受けた方の機能訓練を理学療法士、看護師、健康運動指導士、介護福祉士が支援しています。



○介護度別の年間利用者内訳(人)

	R5	R6
要支援1	242人	258人
要支援2	269人	294人
要介護1	146人	149人
要介護2	130人	121人
要介護3	22人	21人
要介護4	24人	24人

○機能デイトレ 年間延べ利用者数(人)

	R5	R6
利用者数	5,063人	4,834人

有明海リハビリテーション クリニック

南区で地域に根差した 医療を提供する

平成12年に開院した当院は、外来診療・訪問診療に、通所リハビリを併設しています。地域に根差した医療を担うとともに、同じ敷地内にある天寿園などの各施設の入居者や職員の心身の健康維持にも取り組んでいます。



有明海リハビリテーション
クリニック 院長
梶原 瑞恵
MIZUE KAJIWARA

MESSAGE

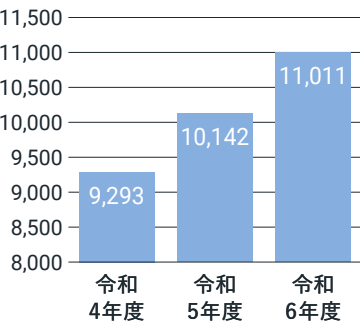
当院は内科全般、整形外科、リハビリテーション科を中心に、地域の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるように優しい医療、看護を実践するとともに、常に患者様のそばで寄り添うクリニックでありたいと思います。



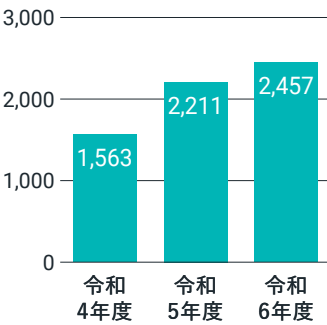
主な取り組み

- 一般外来診療の充実化に加え、訪問診療にも力を入れ、天明地区の地域医療の担い手として貢献する。
- 南キャンパス各施設の入居者の健康維持や看取りを実践するとともに、職員の心身の健康維持を図る。
- 熊本機能病院との連携を通じて、専門的治療の提供や退院後のフォローを行う。
- 南区認知症サポート指定医療機関として、地域の認知症を支える役割を担う。
- 地域包括支援センターや居宅支援事業所との連携を図り、介護保険サービス（通所リハ）を提供する。

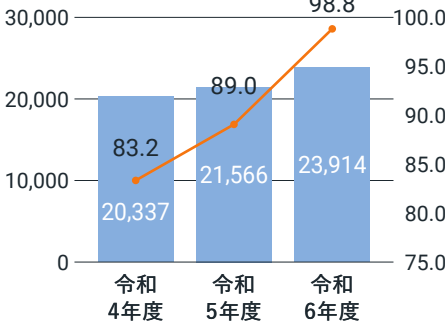
○外来リハビリ総数（件数）



○通所リハビリ総数（件数）



○外来患者延数 — 1日平均患者数



暖

介護用品のレンタル・販売の 快適生活コンサルタント

私達は介護用品や福祉用具の知識と住環境整備については豊富な経験を持つ専任の福祉用具プランナーが相談を承ります。お客様の快適な生活のために何が必要かを一緒に考え、安心した日々を過ごして頂けるよう心をこめてお手伝いします。



暖 ゼネラルマネージャー
瀬脇 和人
KAZUTO SEWAKI

MESSAGE

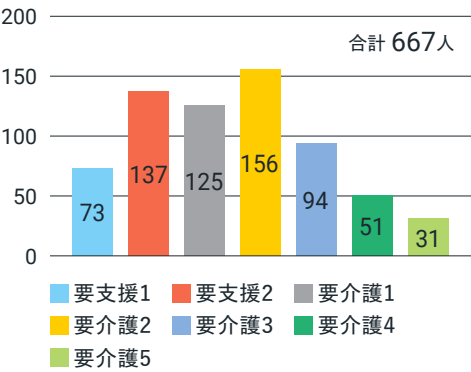
高齢者の在宅生活をサポートするのに欠かせない介護保険制度に基づく介護用品のレンタル・販売・住宅改修サービスを提供しています。これからも“お客様の要望に応えたい”という思いでがんばります。



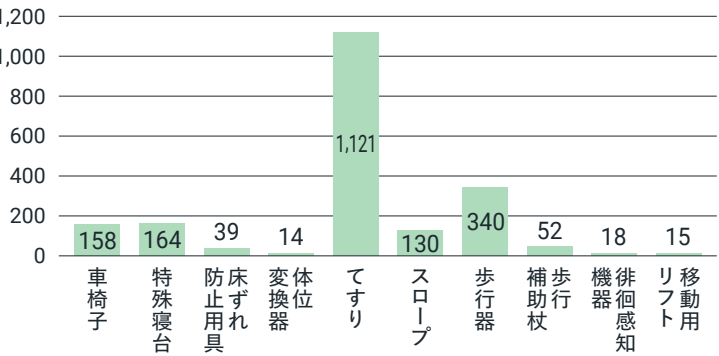
○売上&契約件数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
売上	1億300万円	9,900万円	9,900万円
契約件数	8,599件	8,204件	8,077件

○介護度別利用者数（令和6年度）



○項目別実績（令和6年度）



なないろ森の保育園

小国杉の香りにつつまれた 保育園

「なないろ」は、虹が持つ希望あふれるイメージや、子どもたちのきらきら輝く様々な個性を、「森」は、その子どもたちがすくすくと成長する様子をあらわしています。

なないろ森は、子どもたちの元気な声が響く明るい保育園です。子どもたちの健やかな成長を願い、いろいろなことを経験する中で、お友だちや先生と毎日楽しく過ごしています！



なないろ森の保育園
園長
小池 亜津子
ATSUKO KOIKE

MESSAGE

子どもたちにとって毎日楽しい保育園、保護者の方にとって安心して預けられる保育園を目指し、日々、取り組んでいます。

寿量会職員の方、地域の方の子育てを、職員みんなで応援していきます。



保育
理念

いっぱいあそんで いっぱい感じる

- 保育
目標
- あそべる子 … たのしく なかよく げんきよく
 - 感じれる子 … みて ふれて かんじて



/ 芋ほり /



/ プールあそび /



/ クリスマス会 /



/ 第9回卒園式 /

主な取り組み

- ◎ 戸外あそび・園外活動の充実
- ◎ 季節ごとのあそびや行事

- 4月 入園進級式・クラス懇談会
- 5月 内科健診・芋苗植え
- 6月 歯科検診・プール開き
- 7月 七夕会
- 9月 ミニ運動会
- 10月 ハロウィン
- 11月 芋ほり・内科健診
- 12月 クリスマスお楽しみ会
- 2月 節分
- 3月 ひな祭り会・お別れ会
卒園式

- 毎月の誕生会・身体測定
- 専門講師による
リトミック(リズムあそび)
なないろりんご(英語あそび)
- お弁当の日の実施 年3回
- 災害訓練(火災・地震・防犯等)
- 行事等を通しての他部署との交流
- なないろフレンズ
(子育て支援サークル)の実施



Instagramで園の情報を
発信しています。
覗いてみてください！